



第 55 号
令和7年3月1日
山形県立米沢校
興讓館高等学校
体育文化後援会事務局
(株)川島印刷

体育文化活動の現状と 篤志家大沼悌一様にお会いして

体育文化後援会会長 小島 長五郎



平素は体育文化活動に關しまして、教職員並びに保護者の皆様・部活OB連合会様・賛助会員様それぞれに、物心両面に渡りご支援ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、令和六年十二月に大変嬉しく有難い大口賛助のお話がありましたので、会報にて紹介させて頂きます。大沼悌一様は昭和二十九年本校卒業（故皆川陸雄様と同年）。現在むさしの国分寺クリニック名誉院長として、八十八歳ながら現役の医師として活躍されております。高校時代はバスケットボール部に所属し、現在は医療従事の傍ら全日本シニアバトミントン大会に東京都代表（八十歳クラス）として出場。また、室内楽団「アンサンブルむさし」を主催し、ヴァイオリンを演奏され、各地で演奏活動もされております。ご専門は、てんかん治療で、カナダ留学後アメリカの国家試験に合格。

デトロイト市にある大学病院にて臨床医学を学ばれました。日本を代表するてんかん治療の名医として高く評価されております。

大沼大先輩は、「一生懸命やっている」と必ず壁にぶつかる。どうにも越えられそうにない大きな壁に見える。試行錯誤しながらあきらめずに続けているといつの間にか、その壁をクリアしている自分に気づく。よくやったと自分をほめてあげたい気分になる。しかしすぐ次の壁がくる。この繰り返しが進歩の原動力になっているように思える。」とお話下さいました。自分を支えてくれたのは、自然に恵まれた米沢市で育った事と、高校時代にバスケットボールで鍛えた身体と忍耐の精神。興讓館で文武両道を学んだ事が、ご自分の人生の大きな礎となっているそうです。

新型コロナウイルス感染症が五類に移行し一八か月が経過しました。コロナ感染のかつての脅威は無くなったものの、年末年

始にかけて今度はインフルエンザが全国的に蔓延し、部活動も制限された状況と推察されます。そんな環境の中で、本年度も各部活共に、文武両道を旨とする本校建学の精神に恥じない、立派な活躍をしてくださいました。

さて、今年度の生徒の活躍を下記に列記します。

第四十八回全国高等学校総合文化祭においてコアスパーサイエンスクラブから自然科学部門で三年横山夢人さん、新聞文芸部から文芸部門で三年鈴木香奈さん、美術部から美術工芸部門で三年横澤実莉さんが参加されました。

フエニンシング部では、昨年度末、第四十八回全国高等学校選抜フエニンシング大会において、男子学校対抗エペで第三位に入りました。今年度は第六十二回東北高等学校フエニンシング選手権大会男子個人エペで三年坂本ダヴィさんが第五位、女子個人エペで三年山水仁子さんが第三位、二年山岸詩和さんが第七位入賞を果たしました。また、佐賀県で行われた全国高等学校総合体育大会へは男子個人フルーレに三年藤田健吾さん、男子個人エペに三年藤田健吾さん、坂本ダヴィさん、女子個人フルーレに三年長谷川真子さん、女子個人エペに三年山水仁子さん、二年

山岸詩和さん、団体では女子学校対抗に出場しました。今年一月に開催された第四十九回全国高等学校選抜フエニンシング大会北海道・東北予選会女子学校対抗エペでは第二位に輝き、三月に長崎県で開催される第四十九回全国高等学校選抜フエニンシング大会への出場権を獲得しました。

陸上競技部では三年渡部日向葵さんが第七十九回東北高等学校陸上競技大会において女子七種競技で第三位に入り、福岡県で行われた全国高等学校総合体育大会に出場しました。

また、第二十九回東北高等学校新人陸上競技大会においても混成八種競技にて二年渡部日向さん、男子走高跳に二年渡邊泰玄さん、女子砲丸投に二年情野有香さんが出場するなど、どの部においても東北、全国に興讓館の名を轟かせてくれました。

体育文化後援会は、これからも生徒が安心して部活動をはじめとした体育文化活動に励むことが出来るように、また、教職員の皆さんが安心して指導できる環境を作れるようにと役員一同力を合わせて活動して参ります。会員の皆様並びに同窓会の皆様には更なるご支援をお願い申し上げます。

真の「文武両道」を目指して

校長 吉田直史



体育文化後援会の会員の皆様におかれましては、本校の体育文化活動をはじめとする教育活動全般にわたり、物心両面にわたるご支援・ご協力をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。お陰様で令和六年度も各種教育

活動において多くの成果を残すことができ、学校はもとより保護者、卒業生、地域の方々に元気をお届けすることができました。

運動部では、多くの部が伝統を背負いながら充実した活動を行っており、各種大会において成果を上げるとともに、米沢興譲館の存在感を大いに発揮しています。特筆すべきはフェンシング部団体・個人と陸上競技部個人でのインターハイ出場です。また、この三月には、フェンシング部女子団体が長崎県で開催される全国高校選抜フェンシング大会への出場権を獲得しています。活躍が大いに期待されると思います。

文化部も頑張っています。昨夏に岐阜県で開催された全国高等学校総合文化祭をはじめ、様々なステージで出場(出展)する機会を得ました。また、文化部の生徒たちが地域行事に向いて地域の方々とともにボランティア活動に従事したり、子どもたちと交流をしたりする機会も多くありました。地域に目を向けた活動も活発に行う中で、学校や生徒たちに対する信頼や評価が高まり、それを励みとして活動が活性化していくなど、好循環を生み出していると思っております。

また昨今では、文部科学省指定のSSH(スーパーサイエンスハイスクール)事業や探究活動の取組みも実を結び、全国レベルのコンクールに参加の機会をいただくことも多くなりました。そして数々の賞もいただけるようになりました。昨今、少子化や指導者不足を背景に、活動機会の確保と質の高い活動環境の提供が叫ばれるようになり、本校を含め多くの高校において部活動への加入を任意とし、生徒の多様な活動の場を地域に広

げていく動きが加速しています。部活動に対する社会の認識や教育界の考え方が大きく変わっていく中であって、本校では、ほぼすべての生徒が部活動に加入し、意欲的に活動しております。「文武両道」の伝統を受け継ぎ、「興譲の精神」を胸に一人一人の生徒が真摯に学校生活に向き合う姿勢を、学校として大切なものと受け止め、これからも支援していきたいと考えています。

「文武両道」とは、物理的・時間的に勉強と部活動を両立させるだけではなく、それを目指して努力を重ね、心身共に健全な人間へと成長するための取り組みであると考えます。また、文武両道の「武」は、スポーツや文化芸術の「武芸」を意味するだけではなく、困難に立ち向かう力を養う「心身の鍛錬」、礼儀、正義、勇気といった「道徳的な修養」、自らの可能性を最大限に引き出す「自己実現」という、より深遠な意味を持つものです。本校で過ごす生徒の皆さんが、この「武」の精神を大切に考えながら、困難に屈しない心と目標達成への強い意志を持ち、将来、様々な分野でリーダーとして活躍できるように、引き続き教育環境の整備に力を尽くしてまいります。

会員の皆様には、今後とも体育文化活動をはじめとする生徒たちの学び、そして教育環境の整備に対し、物心両面にわたるご支援をよろしくお願い申し上げますとともに、本校体育文化後援会の益々のご繁栄と会員の皆様のご健勝を心からご祈念申し上げます。

体育文化後援会 表彰者一覧

n o	活動名	組	氏名	活動成績
1	フェンシング部	3-4	藤田 健吾	第49回全国高等学校選抜フェンシング大会 男子エペ団体 第3位
2		3-2	坂本 ダヴィ	
3		2-2	有賀 友亮	
4		2-3	米木 脩人	
5		2-5	宮本 航	
6	陸上競技部	3-2	渡部 向日葵	・第79回東北高等学校陸上競技大会兼秩父宮賜杯 第77回全国高等学校陸上競技選手権大会東北地区予選会 女子七種競技 第3位 ・令和6年度第77回全国高等学校陸上競技対校選手権大会 女子七種競技 16位

上級大会出場者から

第四十八回全国高等学校総合文化祭
岐阜大会 自然科学部門に参加して
コアスパーサイエンスクラブ 横山 夢人

日の強く照らす八月、岐阜県で行われた全国高等学校総合文化祭岐阜大会自然科学部門に参加した。高い志と探究心で溢れたこの会場で、二年生からイノベーター育成塾にて山形大学工学部の伊藤浩志教授のもとで研究してきた「ガラスウール充填フィラメント」に関する研究発表を行った。この研究は、家屋の断熱材などに使われるガラスウールを3Dプリンターで使用するフィラメントに混ぜることで、リサイクルすることができ、物性の面から考察したもので、令和五年度の山形県探究型学習課題研究発表会高文連科学専門部の部で最優秀賞をいただくことができ、今年度、各県の最優秀賞クラスが集まる「ポスター発表の部」での発表が叶ったものである。

大会では、研究への熱量を十二分に出し切って発表、質疑応答にあたった。また、他校生徒や様々な方とも交流ができ、様々な点で参考になった。知見を広げ、今後の糧になる貴重な経験であった。

今回の体験を活かし、これからも己の好奇心を磨くとともに、探究を続けていきたい。



WRO2024JAPAN
決勝大会 in 富山に参加して
コアスパーサイエンスクラブ 田村 元
安部 舜舵
伊藤 共広

私たちは、NPO法人WRO JAPANが主催する「WRO2024JAPAN決勝大会 in 富山」のRobo Mission競技シニア部門に参加してきました。

本大会はレゴブロックでロボットを製作し、その年のテーマに基づいた競技フィールド上で複数のタスクを達成できるようにプログラムを組み、そのポイントを競い合うものです。七月に行われた山形県予選で私たちのチームが県一位となり、シード校として全国大会に進出しました。結果としては入賞には至りませんでした。他のチームのロボットやプロ

グラムを組む様子を見て多くのことを学ぶことができました。このことを次年度大会に出場する後輩にも継承できるように努めていきたいです。この活動に協力していただいた全ての方々はこの場を借りて御礼申し上げます。

マリンチャレンジプログラム
北海道・東北大会に参加して
コアスパーサイエンスクラブ 末野 莉子
土屋 心宇
鈴木 寛大
富樫 和真

今年度、私たち四名は「マリンチャレンジプログラム」に応募し、「マリンチャレンジプログラム認定研究」として「キタノメダカ及びミナミメダカの生息域継続調査」というテーマで研究を進めてきました。この研究は絶滅危惧Ⅱ類に指定されており、本来山形県に生息するキタノメダカの保全を目的に環境DNAを用いて野生メダカの生息域の調査を行うというものです。私たちは日々続いているこの研究をさらに発展させるべくプログラムに参加しました。定期的に行われたメンターの方との打ち合わせでは、スライドの構成やデザインについて指摘をいただき、客観的に見たときに分かりづらく偏った内容になっていたことに気がつくきました。同時に身内だけで進めるのではなく、第三者に客観的に確認してもらうことが大切なのだ学びました。

八月には仙台で北海道・東北大会が行われました。受賞には至りませんでした。審査員の方々から様々なアドバイスを受けた。今後私たちが研究を発展させるために何をすべきか知るきっかけになりました。大会の最後には参加校全員でポスター交流を行い、新たな繋がりが

を得ることができました。今後は本プログラムを含むこれまでの経験を糧に、研究を続け、さらに発展させていきます。

サイエンスキャッスル研究費
ものづくりO.THK賞に参加して
コアスパーサイエンスクラブ 安部 舜舵
鈴木 康太
今野 和
沼尾 斗真

今年度、私たち四名は「サイエンスキャッスル研究費 ものづくりO.THK賞」に応募し、認定研究として研究費をいただき「多方位風力発電装置」というテーマで半年間研究を行った。このプログラムは株式会社リバネスが主催する、LMガイド（直線運動を「ころがり」によってガイドする、T.H.K株式会社の製品）を使用したものづくりを支援する取組である。メンターの方のサポートのもと、私たちは様々な方角から吹く風にも対応できる風車の作成に挑戦した。

十二月には東京で成果発表会があり、一丸となって取り組んだ活動を発表し、奨励賞を受賞することができた。また他の採択されたチームの発表に触れることもでき、独創的なアイデアや高い技術力を目の当たりにし、良い刺激を得ることができた。今回得た多くの学びと経験を活かし、これからもものづくりを続けていきたい。

後悔ない試合に！
フェンシング部 山水 仁子

私は、七月二十三日～二十七日に佐賀県で行われたインターハイに、個人エペと学校対抗の二種目に参加してきました。泣いても笑っても最後になる試合なの

で、後悔だけは残さないようにしようとして決めて臨みました。その決意通り、試合では自分の得意な技で点をとることができ、最終的に負けてしまった悔しさはあったものの、楽しく、「やりきった」と思える試合ができました。この大会で、高校から始めた競技でも、努力を続けていれば全国大会でも戦えるようになる、と実感しました。この経験はこれからの人生において大きな自信になると思います。

このようなすばらしい経験ができたのは、ご指導して下さいました先生やコーチ、いつも支えてくれる家族、大会関係者のみなさん、そして応援して下さいました方々など本当にたくさんの人のおかげです。本当にありがとうございました。



高校陸上で得たもの
陸上競技部 渡部向日葵

高校最後のインターハイでは自分の納得のいく結果を出せず、悔しさが尾を引くものとなりました。今思い返すと、練

習したものが上手く出せないことや記録が伸びなかったことの苦しさばかりが込み上げてきます。しかし、インターハイに限らず、高校陸上で得られたものは計り知れません。自分の現状を痛感すると共に他選手の凄さが陸上面だけでなく様々な面で刺激となりました。

また、今まで指導して下さったコーチの方々、様々な場面で支えて下さった先生方、そして陸上部のみなさんと家族には感謝しかありません。

高校陸上は終わりにりましたが、部活動で得たものを無駄にせずこれからも頑張っていきたいです。



東北大会を振り返って
男子ホッケー部 中野 凌悟

男子ホッケー部は六月十三日から十六日に行われた東北高等学校ホッケー選手権大会に出場してきました。僕たち三年生は、一試合でも多くこのチームで練習ができるよう、チーム一丸となって練習に取り組んできました。

初戦の不來方高校との試合では、前半に自分たちの流れを作ることができず得点を取り切ることができませんでした。しかし、第四クォーターにキーパーの弾いたボールを押し込み、それが決勝点となり試合に

なり試合に勝つことができました。

目の前の一勝に向けてがむしやらにプレーし

勝利を掴み取ることができました。

二日目の沼宮内高校との試合は負けてしまいましたが、

全国トップクラスのチームと試合をすること

で、さらに成長する機会を得ることができました。

これまで僕たちが活動することができたのは、顧問の先生方や家族が支えて下さったおかげです。そのことに感謝しながら、これからも練習に取り組みしていきたいです。



最後の公式戦

女子ホッケー部 阿部璃乃愛

私たちは六月十五日に青森県で行われた東北高等学校ホッケー選手権大会に出場してきました。女子ホッケー部は二〇二三年の後半に部員が三名のみになり、それ以降公式戦に出場していませんでした。二〇二四年度になり一年生が七名入りし、正式な試合人数には足りませんが

したが、女子チームとして大会に出られるようになりました。短い練習期間でしたが一年生も全員初心者ながらできることを増やそうとチーム一丸となって努力してきました。迎えた最後の公式戦。相手は強豪の岩手県沼宮内高校。結果は敗退し、格上相手に力が及ばないことを実感する内容でした。しかし、第二クォーターでは失点をゼロに抑えることができましたこと、辛い状況でも諦めずにボールに向かう姿勢、声をかけ合っただけでか一点取ろうと積極的に攻めたことは、これまでの部活動で培ってきた力を発揮できた場面だったと思います。そして何より、チームを組んで仲間とプレーできたことが本当に楽しかったです。これまで応援して下さいました全ての方々に感謝申し上げます。



全国高校総合文化祭に出場して
美術部 横澤 実莉

私は、八月に岐阜県で行われた全国高校総合文化祭美術・工芸部門に出場してきました。昨年からのこの大会を目標に制

作に取り組んできたため、今回出場できたことをとても嬉しく思います。全国から集まった作品は、どれも丁寧な作り込まれていて今まではレベルが違うことを実感しました。今まで見たことのない面白い発想と、高い技術の作品を直接見ることができ、様々な方と話して交流できたことは、私にとって貴重な経験となりました。特に、交流会では他県の生徒の皆さんと、作品や普段の活動などについて楽しく話すことができ、とても充実した時間を過ごすことができました。岐阜の豊かな文化に触れ、同じ「美術」に取り組む仲間と仲を深められたことで、自分の視野を大きく広げられたと思います。今回の総文祭を通して得た経験を忘れない、これからの自身の成長に繋げていきたいです。



ぎふ総文を通して、さらなる高みへ

新聞文芸部 鈴木 香奈

私はこの夏、全国高等学校総合文化祭ぎふ大会に出場させていただきました。昨年、ぎふ総文への出場が決まったときからずっと待ち焦がれていた一大イベントで、とても充実した四日間でした。中でも、私達高校生約四十人分の小説を、現役小説家として活躍されている先生

方の一つ一つ丁寧に評価いただいた散文部門分科会が印象に残っています。分科会で触れた他の高校生の方の小説の書き方やストーリーの展開の仕方、そして先生方から得た貴重な評価やアドバイスを、決して忘れることのない私の大切な宝物となりました。これからの創作活動に、是非とも活かしていきたいと思っています。



インターハイに出場して

スキー部 村山 賢助

まず今年度の始めに設定した目標であるインターハイ十五位以内という目標を達成することができて、とても良かったと思うと同時に悔しさの残る結果になりました。夏の練習でできていたことが冬になって思うようにできなくなっていたり、大会の緊張で競技中にしっかり考え



ることができなくなったり、原因は様々ですが、自分の力を出し切れなかったように思いました。しかし、去年より順位を二十五位から十三位に伸ばせたことで、この一年で着実に自分の力がついていると自信を持てました。ここまで力をつけることができたのは、自分の両親をはじめとした部活動の顧問の先生方や、様々な方々のおかげです。この一年間、本当にありがとうございました。

インターハイに出場して

スキー部 山口 貴弘

来シーズンは受験のため大会には出場できません。そのため、今シーズンが小学生から続けてきたアルペンスキー競技に一区切りをつける年でした。入部したころから目標にしていたインターハイ出場を達成することができて嬉しかったです。二本とも揃えてゴールすることができず苦しい結果にはなりましたが、全国大会の雰囲気やトップレベルの選手の様子、難しいコースでのレースなど貴重な経験を得られることができました。なにより、幼いころからアルペンスキーをしてきてたくさんの人と出会い、たくさん支えてもらい成長できたと実感した大会でした。応援してくださった皆様ありがとうございました。



令和六年度 部活動 活動報告

文化部

調理科学部

- 顧問 安日 恵子
- 前部長 鈴木 智恵子
- 部長 和久井 響
- 現部長 菊地 穂

今年度、私たち調理科学部は、三年生八名、二年生九名、一年生五名の計二十名で活動してきました。

今後に活かせる調理技術の向上を目指した調理実習を中心に、技術検定の取得、コンテストへの参加、地域の文化祭での出店、茶道体験などさまざまなことに挑戦しています。「高校生山形うまいもの商品開発コンテスト」では、三年生の先輩方のサポートを受けながら、四つの作品を応募し、一つが最終審査会で商品化につながる賞をいただくことができました。現在は企業の方とワークショップなどをを行い、販売に向けた準備をしています。興譲祭では、模擬店を「女子高生が本気でカフェやってみた」というテーマで出店し、レモンのパウンドケーキとチャッククッキーを販売しました。たくさんの方に手に取ってもらい、無事に完売することができました。今年度は自分たちが主体となる活動が多く、多くの学びや経験を得ることができました。部員全員で楽しみながら温か

◆新聞・文芸部

顧問 藤原 洋子
前部長 山 藤 優美子
前部長 山 口 翔 平
現部長 千葉 漣 二

い雰囲気でも活動できたと思います。来年度も、部員同士で協力し合い、楽しんで活動していきます。

◆一年を振り返って

四月、そよそよと到来したのは、春の風と新入生の部活動勧誘期間。当時はなんとおもうっていませんでしたが、今にしてみればあの期間が今年度の部活動を分かち分岐点であったように感じられます。二年生の人数は四人と少数。これからの部活動を継続していくには少し不安がありました。新入部員は六人と、なんとか先輩方からの灯を絶やさずに済みそうで安心したものです。

新体制で始まった部活動では、今年度からの新たな試みとして『無限軌道』の企画である詩の詠み合いを文芸班で行いました。新聞班、文芸班関係なく部活動の内容が画一化されないように、これからの活動でも新たな取り組みを実施していきたいです。

三年生の引退後、一・二年生はそれぞれの創作活動に励みました。新聞班は体育祭や合唱祭、自治会役員選挙などのイベントに合わせての新聞作成に取り組んでいます。文芸班では、各々の作品や前述した企画を一つにまとめた『無限軌道』を興譲祭に合わせて刊行しました。

また、今年度は新聞編集講習会、全国高等学校総合文化祭岐阜大会、県高校総合文化祭文芸部門置賜大会、全国高等学校文化連盟北海道・東北文芸大会みやぎ大会、置賜地区新聞・文芸部合同研修会

への参加が叶いました。他校との交流の機会はその場限りの経験に終わらせずに、これからの創作活動の原動力にしていけたらいいなと思うところです。

最後になりますが、顧問の先生方、日々支えてくださる保護者の方々、地域の皆さまへの感謝を忘れずに、言葉を大切にしてください。これからの活動を続けていけるように頑張ります。

◆美術部

顧問 佐々木 綾子
前部長 江 袋 晴 菜
前部長 竹 林 瑠 奈
現部長 石 谷 海 羽

美術部は三年生四人、二年生一人、一年生七人計十二人で活動していました。

五月二十八日から六月二日までナセB Aで美術部OB・OG合同展を行いました。過去・現在・未来が幾重もの糸で結うようにつながっていることを表現するため、「綯(なづ)」をテーマにしました。一年生は初めての油絵を展示し、三年生は最後の作品でした。OBからのアドバイスはそれ以降の制作にとって良い刺激となり、作品の課題解決の糸口になったと思います。八月一日、二日に第四十八回全国高等学校総合文化祭ぎふ総文祭が行われ、三年生の横澤さんが山形県代表として出品しました。八月に行われた置賜地区高校美術展では一名が特選、三名が奨励賞を受賞しました。さらに十月の緑光会に出品した際には、一名が高校生最優秀賞、一名が奨励賞を受賞しました。

十月に山形市で行われた県高校総合文化祭では、三名が奨励賞を受賞しました。一年間のうち最も力をいれた今大会での

成績は課題を再発見しただけでなく、部員の自信にもつながる結果となり、とても価値のある経験ができたと思います。

これからも興譲館高校美術部は努力を惜しまず、誠実に制作を進めていきたいと思えます。顧問の佐々木先生や江袋先生、外部の先生、展示会の運営の方々など、活動に協力してくれたすべての人たちに深い感謝を申し上げます。

◆吹奏楽研究クラブ

顧問 土井 広一
遠藤 優美子
吉田 香 織
前部長 我 妻 花 音
前部長 佐々木 凜

今年度、吹奏楽研究クラブは三年生十七人、二年生十八人、一年生十四人の計四十九人で活動してきました。

四月には新入生へ向けたミニコンサートをコンホールで行い、五月に行った定期演奏会では多くのOB、OGの方とともにすばらしい経験をすることができました。こども演奏会では、一緒に歌ったり手遊びをして楽しんでいただけました。七、八月には吹奏楽コンクール置賜地区予選、山形県大会に参加し、県大会では銀賞をいただきました。三年生が引退したあとは、九月に米沢市内の幼稚園、保育園へ、十一月には老人ホームへ訪問し演奏させていただきました。直接感想を伝えてくださった方や、涙を流して喜んでくださる方がいらして、これからの活動の励みとなりました。十月には「吹奏楽の日」コンサートや南原音楽祭に参加し、地域の皆さんに演奏を聴いていただきました。十一月からはアンサンブルコンテストに向けた練習が始まり、チー

ムごと意見を出し合いながら練習を進めました。十二月に行われた置賜地区予選では出場した三チームすべてが金賞をいただくことができました。

来年度も大会や日々の練習から出た反省を活かし、よい演奏を届けられるよう日々の努力を積み重ねていきます。

◆ESS部

顧問 向 田 智 弘
前部長 鈴 木 通 明
前部長 野 村 汐 里
現部長 小 野 瑞 稀

米沢興譲館高校ESSは、今年度が始まり、三年生が引退するまでの時間は、昨年度のHEND A(全国英語デイベート連盟)において課題となったことと英語デイベートの注意点を共有をしたり、洋画やネイティブスピーカーによる英語が話されている動画を鑑賞しリスニング力の養成をしたりして部内全体で今年度のHEND Aに向けた英語デイベートの基礎をつくりました。

三年生の引退を迎えてからは、今年度新たに活動を始めた一年生と昨年度の大会経験をもち二年生による本格的な大会に向けた活動が始まりました。今年度は昨年度に続く全国大会出場を目標に活動してきました。結果として全国大会に進むことはできなかったものの、今年度の県大会ではAチームが四勝一敗で山形県三位入賞、Bチームが三勝一敗となり、昨年度と比べ飛躍的に成長することができ、部活動として大きな意味のある一年を過ごすことができました。

後輩たちには今年度の活動をおして学んだことを十分に活かし、来年度はより高い目標を掲げ、それを達成すること

を期待しています。

◆コアスーパースサイエンスクラブ

顧問	高橋 山
部長	今山 三
副部長	栗野 夢
現部長	栗野 魁斗

今年度、コアスーパースサイエンスクラブは三年生四名、二年生三十名、一年生十二名の計四十六名で活動しました。

今年度の前半は「World Robot Olympiad Japan」において、県一位、二位という好成績を収め、一位のチームが「WRO2024 Japan 決勝大会in富山」に出場することができました。「東北大学科学者の卵養成講座」では、六名が研究基礎コース、一名が研究発展コース、二名が研究重点コースを修了しました。また、「マリンチャレンジ二〇二四」認定研究となり北海道・東北大会へ参加したり、「サイエンスキャッスル研究費ものづくり0. THK賞」の認定研究に採択され、「多方位型風力発電」の研究を行い発表会で奨励賞を受賞したりと、多くの部員が活躍しました。

後半は、今年度より「イノベーター育成塾」から山形大学工学部全体での研究室受け入れ体制に発展した「サイエンスリーダー育成塾」における個人・グループによる研究、各種発表会への参加、さまざまなコンテストへの参加等に力を入れました。「サイエンスリーダー育成塾」では、山形大学工学部の研究室に配属させていただき、大学の先生や大学の学生の方々のご指導のもと、最先端の専門研究を体験することができ

きました。結果として、「令和六年度山形県探究型学習課題研究発表会高文連科学専門部の部」において「深層学習モーショントラッキングを用いたメキシコサンショウウオの行動解析―ウーパールーパー―」が最優秀賞、「分子側鎖の絡み合いによって外部刺激なしで自己修復性を示すゲル」(化学研究領域)が優秀賞をいただき「令和七年度全国高等学校総合文化祭自然科学部門」への出場が決定しました。また物理研究領域で優良賞をいただき、今年度も昨年度に引き続きエントリーした全研究での入賞を果たしました。また二月には「サイエンスリーダー育成塾専門研究成果発表会」で大学の先生方を前にして半年間の研究の成果を英語で発表しました。

その他、「パソコン甲子園二〇二四プログラミング部門」、「第二十四回日本情報オリンピック」への参加、加えて「やまがたA I部」「山形大学スーパースサイエンススタ二〇二四de米沢」などそれぞれが科学系講習会・発表会・コンテスト等へ参加し、意欲的に活動しました。

社会貢献活動として、「青少年のための科学の祭典in山形」「南原文化祭」「放課後子ども教室「高校生による科学実験・工作講座」」での子ども向け科学実験・工作ブースの運営を行いました。また「米沢興譲館探究フェスティバル」では、昨年度に引き続き子ども向けプログラミング講座を実施しました。

これらの多方面の活動は、顧問の先生方からの案内や助言、自らがアンテナを高くして積極的に情報を集め、参加したり発表したこと成し遂げることができたことだと思えます。また、先輩方から実験方法やこれまでの研究成果の伝達、学年を超えた発表練習や意見交換が積極的に行われて

おり、「コアスーパースサイエンス」の名のとおり、本校の科学の中心となる集団に近くことができていると感じています。さらにハイレベルな活動を行うことができる集団づくりのために各々が作成したポスターなどをコンピューター室の共有フォルダーに残すなどとして活動履歴を残し継承していきたいと考えています。これからも、周りの方々への感謝を忘れずに日々活動していきます。

◆音楽部

顧問	山口 英雄
部長	青木 康博
副部長	長谷部 真友子
現部長	長谷部 心陽

私たちは発表の場に向けて日々練習に励んでいます。今年度最初の発表は入学式での校歌紹介でした。

六月には置賜地区高等学校合唱祭がありました。他校の合唱を聞き、学びを得ることができました。また、この発表を最後として三年生の先輩方が引退されました。

八月には興譲祭がありました。三年生が引退して初めての発表なので不安もありましたが、文化部発表と有志企画どちらもあり切ることができました。

九月には介護施設での訪問演奏ボランティアがあり、施設の方々の楽しんでくださっている様子が感じられました。

十月にはイオンでの発表と青少年のためのクラシック入門コンサートがありました。また、安藤由香先生のレッスンでは今までは違う視点での指導も多く、とても勉強になりました。

十二月には今年度二回目の置賜地区高等学校合唱祭がありました。

一月にはユアタウンコンサート、二月には山形県音楽アンサンブルフェスティバルに参加する予定です。今年度はたくさんの方々の行事があり、学びの多い一年間だったと思います。これからも音楽を楽しむ心を忘れずに活動していきたいです。

運動部

◆硬式野球部

顧問	渡邊 大也
部長	山下 慶信
副部長	戸田 和幸
現部長	酒井 七穂

私たち硬式野球部は、多くの方々から支えられているながら日々活動してきています。

春季東北地区高等学校野球山形県大会のシード決定ブロック大会決勝では、山形中央高校と対戦して最終回で逆転され、県大会では酒田南高校に無得点のまま敗れました。強豪校の常勝する強さを感じたことにより、勝つためには何が必要かをチームで熟考し、一人ひとりがよりひとむきになって練習に励んできました。

そして、全国高等学校野球選手権山形大会では鶴岡工業高校と対戦し、磨いてきた守備を最大限に発揮し、自分たちの野球で延長戦の末に勝つことができました。

新体制となり、「万里一空」をチームテーマに掲げ、チーム全体がひとつの目標に同じように向き合い、勝つことにこだわり努力してきました。秋季東北地区高等学校野球山形県大会では、羽黒高校

と対戦し、取り組んできたことは發揮できたものの、課題が見つかる結果となりました。

今年度は勝つことの難しさを改めて感じたことで、勝利に対してあるべき姿をチームとして追求してきました。今後も応援して下さる方々に感謝し、応援していただける野球部員になるために人間と技術を磨き、勝利の知らせを届けられるよう頑張ります。

陸上競技部

顧問 三浦 玄太
 前部長 中川 玲子
 前部長 坂野 理絵
 現部長 野川 裕太

私たち陸上競技部は一年生七名、二年生十九名、三年生十六名の計四十二名で活動してきました。また、今年はコーチの堀江先生、米沢地域おこし協力隊のベジヤミンさんに専門的な指導をしていただき、全員が高い目標に向かって練習をしてきました。

まず、三年生にとつて集大成となった県高校総体。芳しくない天候ではあったものの、積み上げてきた練習の成果、そして陸上への情熱を全て天童の大地につけ、四名が東北総体出場、一名がインターハイ出場という輝かしい結果となりました。記録の優秀に関わらず、メンバー全員で臨み、全力を尽くせた素晴らしい大会でした。三年生が引退し試行錯誤を重ねる日々の中、迎えた県新人大会。地区大会の廃止、日帰り出場という新しい状況下で個々の目標に向かって戦い、三名が東北新人大会へ駒を進めるといふ活躍を見せました。この大会で得た学び

や悔しさを次の大会へと繋げたいと思います。

雪が解け、春が訪れば新しい陸上競技部が始動します。周りへ感謝しながら一日一日の部活動を楽しみつつ陸上道に進進して参ります。

バレーボール部

顧問 後藤 由香
 前部長 市ノ渡 満与
 前部長 中川 峻
 現部長 舟腰 怜次郎

今年度のバレーボール部は選手九名、マネージャー四名でスタートし、少ない人数で日々練習に励んできました。県高校総体では、ボールにくらいつき必死に繋ぐも、一回戦敗退と悔しい思いをしました。また、新体制で臨んだ春高バレー

地区予選では、一勝はしたものの県予選へ出場できませんでした。この経験から課題である「勝ちきる力」を身につけるため、限られた日々の練習や練習試合とおし二十点以降正確にプレーすること、流れが相手にある中で乗り切れることを頑張ってきました。十一月に行われた地区新人大会では、一セット目を取られてもチームが一つとなり粘り強く繋ぎ、米沢中央高校には敗れたものの、地区で二位を掴み取ることができました。一点を取るために必死にプレーした試合は、バレーボールの楽しさを私たちに再認識させてくれました。来年度に向け、先輩から受け継いだ「粘り強いバレー」を心がけ、試合を楽しみつつ勝ちきれ強いチームを目指します。そして、支えてくださる保護者やOBの方々のご支援に感謝し、切磋琢磨して練習に励んでいきます。

バドミントン部

顧問 西 智広
 前部長 佐藤 好由
 前部長 齋藤 諒汰
 現部長 渡部 夢人

今年度のバドミントン部は顧問の先生方と外部コーチである近藤洋二さんのご指導のもと、地区・県高校総体、地区・県新人大会に臨みました。

私たちは質の高い練習ができるようにするため、部全体、各個人としての目標をそれぞれ立てました。少ない練習時間の中でも高い目標を達成するため、一人ひとりが自身の課題を意識して練習ができました。また、他校や社会人の方々と練習試合や合同練習、遠征などを多く組んでいただき、実際の試合に向けての貴重な経験を得ることができました。

春の地区高校総体では男女団体優勝、男子個人種目ではダブルス・シングルスともに優勝、女子個人種目ではダブルスで優勝、また男女ともに上位入賞多数となりました。三年生はこれが最後の大会となりました。三年生はこれが最後の大会とならないためにも強い覚悟を持ち、全体的な姿勢としても、結果としても部全体を引っ張ってくれました。

県高校総体では男子団体は第三位、女子団体はベスト8という結果となりました。男子団体は県優勝、女子団体は東北大会出場という目標でしたが惜しくも目標達成とはなりません。しかし男女ともに団結し、自分たちのプレーをすることができました。個人戦では男女ともに東北大会、インターハイへの切符を掴むことができず、ここで三年生は全員引退となりました。悔しい結果となりましたが、選手全員が全力

で戦い抜くことができました。そして私たちは、引退する偉大な三年生の反省や想いを背負い、新チームでの活動をスタートしました。

地区新人大会では、男女ともに団体準優勝、男子ダブルス優勝、男子シングルスで二位、三位、女子ダブルス二位、女子シングルスで優勝、二位でした。特に団体戦で優勝できなかったというのはとても悔しい結果で、県新人大会までの期間では反省をもとに、より一生懸命に練習を重ねました。

県新人大会では全種目を通じて女子団体、女子シングルスベスト8が最高で、悔しい結果となりました。

この結果から、大会後ミーティングを行い、新たに明確な目標を設定し、一人ひとりが目標達成のために何が必要か、何を意識し練習を行うべきか考えました。これにより、さらに質の高い練習ができるようになりました。

今年度の部活動では良い結果を残すこともできましたが、非常に大きな悔しさも残りました。しかしながらこれからの私たちの活動において大変有意義なものにもなりました。これからは来年度での目標達成に向けて、努力を怠らず、日々全



力で部活動に励みたいと思います。

◆ サッカー部

顧問	伊藤 謙 滝
前部長	丸山 光 輝
現部長	本田 隼 祐
	高世 脩 斗

本校サッカー部は、三年生十名、二年生十二名、一年生九名、マネージャー四名の計三十五名で活動を開始しました。「県大会出場・Y2昇格」を目標に掲げ、日々の練習に励みました。春の地区高校総体では決勝に進出し、米沢中央高校と対戦しましたが、善戦むなしく敗れ、準優勝で県高校総体出場を果たしました。県高校総体では山形城北高校との二回戦で惜敗し、これをもって三年生が引退となりました。

新チームとなった私たちは、県新人大会や選手権での勝利を目標に掲げ、夏の強化期間では、基礎スキルやチームプレーの向上に注力しました。しかし、リーグ戦では、チームメイトたちの怪我が重なり、思うような結果を残せない試合が続きました。この経験を糧に挑んだ全国高等学校サッカー選手権大会予選では、粘り強い戦いの末に勝利を収めることができ、自信をつけることができました。その後、目標や課題をチーム全体で共有し、来年度に向けた意識を高める大きなきっかけとなりました。今後は個々のスキルをさらに磨き、チーム力を向上させ、また、支えてくださる先生や保護者の方々への感謝を忘れず、歴代の先輩方を超える成績を目指して努力を重ねていきます。

◆ バスケットボール部(男子)

顧問	安藤 佑 樹
前部長	福島 壯 央
現部長	高橋 優 介
	若月 優 介

今年度、私たち男子バスケットボール部は三年生七名、二年生十名、一年生三名で始動しました。私たちは県ベスト8を目標に、チーム全員で声を出して試合本番のような雰囲気をつくって練習に取り組んできました。

三年生最後の大会である県高校総体では、二回戦で東桜学園高校と対戦し、これまでの練習の成果を十分に発揮し、勝利を収めました。続く山形商業高校との試合では序盤から相手にリードを許し、悔しい敗戦となりました。それでも最後まで諦めず戦い抜く三年生の姿はチームを鼓舞し、私たちの心に深く刻まれました。

新チームとなつてからは、練習や試合で見つかった課題を一つずつ解決しながら、技術面だけでなく精神面の成長を目指しました。その努力の成果として、地区新人大会では持ち味を發揮して勝ち進み、



準優勝することができました。最後にありますが、練習や試合ができる環境を整えてくださる先生方や外部コーチ、そして応援してくださる保護者の方々への感謝を忘れず、これからもチーム全員で目標に向かって努力していきます。

◆ バスケットボール部(女子)

顧問	小林 啓 明
前部長	安日 恵 子
現部長	阿部 あやの
	青木 ひかり

今年度、女子バスケットボール部は三年生六名、二年生六名、一年生二名で始動しました。優勝を目標に挑んだ地区高校総体では初戦の南陽高校に惜敗し、初戦敗退という悔しい結果となりましたが、この悔しさをバネに県高校総体に向けて努力を重ねました。県高校総体では上山明新館高校と対戦し、惜しくも二点差で負けてしまいましたが、粘り強いディフェンスと強い攻めの気持ち、そしてチームの目標である「ワクワク・ギラギラが最強」という言葉を胸に最後まで戦い抜くことができました。大会を終え、頼りになる先輩方とともに戦うことができなくなることを寂しく思うのと同時に、先輩方と一緒に目指した「地区優勝・県ベスト8」を今度こそ新チームで達成させるといふ強い思いが芽生えました。

新チームでも変わらず「地区優勝・県ベスト8」を目標に掲げ、日々の練習に取り組んできました。少人数のため、試合形式の練習を十分にすることができない中、自分たちで課題を見つけ、高みを目指してきました。しかし、ウインターカップ県予選大会では羽黒高校と対戦し、



大差で敗れてしまいました。試合では力の差を痛感し、さらなるレベルアップをしなければならぬと感じました。地区高校新人大会では準決勝に進み接戦となりまし

たがあと一歩届かず、九里学園高校に惜敗しました。しかし続く三位決定戦では気持ち切り替えて高島高校と対戦し、自分たちの持ち味を發揮して勝利しました。大会では、成長を感じつつも、基礎的なミスが多いこと、コミュニケーションが足りていないことなどが課題として浮き彫りになりました。今後は、支えてくださっている方々への感謝を忘れず、これらの課題を克服しさらに成長していきたいと思えます。

◆ ソフトテニス部(男子)

顧問	五十嵐 康 博
前部長	石原 大 聖
現部長	酒井 心 駿

本校ソフトテニス部男子は今年度三年生六人、二年生三人、一年生一人で活動してきました。部員全員が日々の練習に真剣に取り組み、個人、団体ともに県高校総体で勝ち進むことができました。三年生の引退後は少人数ながらもそれ

それが自分に足りない部分を考えて全員でコミュニケーションをとり、やるべきことを考え日々上達できるように練習してきました。また、団体では南陽高校と合同チームを組み、少ない練習時間の中でお互いに切磋琢磨しながら練習に取り組んできました。県新人大会団体戦では第一回戦で致道館高校と対戦し、慣れないペアや大会でのプレッシャーに対応できないまま相手のペースに押されてしまい一二で敗退となりました。良いプレーもあった中で小さなミスも多くあり、調子をあげきれないまま終わってしまいチーム全員で勝ち切ることの難しさなど、実力的な面でも精神的な面でも多くの課題が見つかる大会となりました。これらの課題をチーム全体で把握し、これからの練習で改善していき地区高校総体、県高校総体に向けて更なるレベルの向上を目標に、日々支えてくださっている方々への感謝を忘れずに努力を重ねていきたいと思っています。

◆ソフトテニス部(女子)

顧問 早川 由美
前部長 志藤 征多郎
前部長 原 千夏
現部長 佐藤 優衣

今年度の部活動は三年生六人、二年生七人、一年生三人で活動してきました。六月の県高校総体に向けて三年生を中心に練習に励んでいました。団体戦ともにチーム一丸となって県高校総体へと勝ち進みました。

三年生の引退後は、ペアが変わったことで新チームをつくることに試行錯誤しましたが、十人力を合わせて頑張っています。人数が少ない日は個人の苦手を克服

服する練習に取り組みなど、工夫しながら日々部活動に励んでいます。県新人大会では第一回戦上山明新館高校と当たり練習を活かしたプレーでペアと力を合わせ二一〇で勝ち進みました。第二回戦では東海大山形高校と当たり、圧倒的力を見せられ、〇一二で敗退となりました。相手の力強いプレーやボールに押され、ミスが増えたりなど精神的な部分や、練習不足などところなど課題が多く見つかりました。これらの課題をペアやチームで確認した上で練習メニューを作成し、地区高校総体、県高校総体に向けさらなるレベルアップを目指して、努力を積み上げていきたいと思っています。

◆フェンシング部

顧問 高田 和典
前部長 稲毛 知明
前部長 長嶋 夏穂
現部長 有賀 友亮

今年度、私たちフェンシング部は、三年生六名、二年生五名、一年生十名の計二十一名で活動してきました。六月の県高校総体では男子個人フルレ、女子個人フルレ、男子個人エペ、女子個人エペ、そして女子団体フルレの計五種目で全国高校総体の出場権を勝ち取ることができました。全国の舞台はレベルの高い選手ばかりでしたが、その中でも怖気づくことなく、自分のプレーに自信を持ち、粘り強く戦うことの大切さを学びました。

最後まで私たちが牽引してくださった先輩方が引退され、八月には新体制となりました。部員全員が高校からフェンシングを始めた初心者ですが、一人ひとり課題を考えたり、お互いにアドバイスを

しあったりし、剣技を磨いてきました。また、県内外問わずたくさん練習会や大会に参加し、多くの経験を積むことができました。

今年度は、思うような結果を残せない日々が続きました。来年度の県高校総体では個人、団体ともに多くの選手が上位大会に進出できるように、勝ち切るイメージを常に忘れず、練習に取り組んでいきます。

◆卓球部

顧問 山口 憲武
前部長 菅沼 正樹
前部長 上浦 英樹
現部長 遠藤 佑馬

今年度、興譲館高校卓球部は男女合わせて三年生七名、二年生五名、一年生十名の計二十二名で活動しました。県高校総体では、男子団体が一回戦敗退、女子団体が三回戦敗退となりましたが、男子は一年生の多くが県高校総体を体験でき大幅に成長できました。

三年生が引退した後は、それぞれの課題を意識して練習を行うなど、質の高い練習を心がけました。そこで、今年度は男女で分けて練習を行う機会を増やしました。男女別々に行う練習では、主に女子は球を出す人打つ人に分かれて行う多球練習、男子は対面で球を打ち合う対面練習を行いました。この練習をとおして各々課題に合わせた練習をすることができ、自身のミスを減らしました。また、練習の際にアドバイスを送り合うことで、相手と自身の能力向上に繋げることができました。そして迎えた県新人大会では、団体戦は男女ともに二回戦敗退でした。今後は、興譲館高校で培った「頭脳」

◆水泳部

顧問 深谷 健
前部長 石黒 宏治
前部長 結城 陽大
現部長 結城 陽大

今年度の水泳部は三年生二人で活動してきました。各自、目標を掲げてお互いに切磋琢磨し、高め合いながら練習に取り組んできました。県高校総体では男子二〇〇メートル平泳ぎで上田一樹が五位入賞、結城陽大が九位、男子一〇〇メートル平泳ぎで上田一樹が七位入賞、結城陽大が九位、また、上田一樹が両種目で東北高校選手権出場という素晴らしい結果を残しました。惜しくも二人での東北高校選手権大会出場は叶いませんでしたが、各々が自分らしい泳ぎを発揮し、悔いなく泳ぎ切ることができました。

三年生として最後の大会でしたが一人ひとりが日々の練習の成果を出し切ることができ、良い経験となりました。

◆山岳部

顧問 菊地 篤
前部長 齋藤 大気
前部長 安部 大晴
現部長 桑原 優心

令和六年度の米沢興譲館高校山岳部は三年生七人、二年生三人の合計十人での活動が始まりました。例年通り、年始は山岳部の恒例行事である「山男」の作成から入り、その後は筋力トレーニングや

体力増強などといった次のシーズンへ向けたトレーニング、山で危険に合わないための知識を身につけることに努めました。



引退後は、入部した一年生を入れて部員四人となり、心機一転して活動を再開しました。新体制に慣れておらず、実際の登山に関しても、先輩方のやられてきたことの大変さを強く感じました。そこからは部活動全体で、四人という少人数でも先輩方のように円滑に活動できるようにと団結し、現在まで試行錯誤しながら努力しています。

地区新人大会においては天候に恵まれず規模縮小となり、不完全燃焼な大会となりました。県新人大会では人数が足りずに順位が付かないという満足のない結果となってしまいました。これまでに学び、積み重ねてきたものを来年度の県高校総体につなげ、悔いの残らない状態で終わることができるように励んでいます。

三年生三人、一年生一人の計四人で活動を開始しました。高校から柔道を始めた私にも、先輩方は優しく教えてくださいました。学校外での活動にも積極的に取り組み、ゴールデンウィークに若松商業高校へ遠征に行ったり、宮城県で行われた練習試合に参加したりして、地区高校総体や県高校総体に向けて練習を積み重ねました。大会が終わり、三年生が引退してからはしばらく一人での練習になりましたが、柔道部に新しいメンバーが加わり、それからは、打ち込みや乱取り、試合形式の練習といった、より柔道らしい練習を行いました。その後の地区新人大会や県新人大会では、各々がそれぞれの目標を持って試合に臨み、自分自身と向き合うことができました。その後も自分たちの動きを分析したり、置賜地区合同練習会に参加したり、より良い柔道ができるよう、練習に取り組んできました。

これからも、来春に向けてそれぞれが目指す姿を明確にイメージし、練習に励んでいきたいと思えます。

◆ 剣道部

顧問 五十嵐 弘一
前部長 松村 宜典
前部長 渡部 浩太郎
現部長 新保 彰人

現在、私たち剣道部は五十嵐先生、松村先生、OB・OGの方々のご指導のもと男子十名、女子七名の計十七名で互いにアドバイスを掛け合いながら日々の稽古に励んでいます。地区新人大会では、チーム全員が目標に向かって精一杯戦い、男子団体が三位、女子団体が二位、個人戦では四名が県新人大会へ進出しました。この大会では一人ひとりが新しい

目標、課題が明確になり成長するきっかけが見つかった大会になりました。地区新人大会での悔しさとマネージャーの心のコモったお守りを胸に挑んだ県新人大会では、手強い相手にチーム一丸となって敢闘しましたが、あと少しのところまで惜敗してしまいました。



また、個人戦でも延長を繰り返して粘り強く戦い抜き地区新人大会から一人ひとり大きく成長することができた大会になりました。

これまで力強くチームを支えて牽引してくださった先輩方が引退し、新体制に移り変わり、これからチームをまとめていけるのかという不安や戸惑いを感じるとともに改めてこれまでの先輩方の存在がチームにとってどれだけ大きなものだったか気付かされました。ですが先生、前部長から助言をいただき徐々にチームをまとめていくことができました。また、剣道部は先輩、後輩の垣根を超えてアドバイスを相談をすることができ、別の視点からでしかわからないこともあるため互いにアドバイスを相談をできる関係と環境があることが剣道部の強みだと感じます。また、剣道部は個性豊かすぎる部

員たちのおかげで日々楽しく活動しています。夏には米沢工業高校との合同合宿で全力で素振りや千本振ったり、他校の生徒とチームを組み練習試合を行います。それを磨くだけでなく戦略も考えながらみんな汗を垂らし切磋琢磨したり、無学会総会と呼ばれるお盆に行われる大規模なOB会では、OB・OGの方々から一本を取るために熱い試合が繰り広げられ、先輩方との交流が深まりました。一週間連続で遅刻する人のおかげで暑くて辛い稽古に笑いが起きたりと、とても充実した夏休みとなりました。

最後に剣道には「打って反省、打たれて感謝」と「肉を切らせて骨を断つ」という言葉があります。限られた練習時間のなかで自分の打突に無駄がなかったのか反省し、自分が打たれたときには自分に隙があったことに気付かせてもらえるような稽古、そして手強い相手に粘り強く戦い一本を取られようとも最後には私たちが勝利するという強い気持ちをもってこれからの大会に挑んでいきます。そして、私たちのために成長の機会を設けてくださる先生方、OB・OG、保護者の方々など恵まれた環境で日々稽古ができることへの感謝を忘れずに興譲館高校剣道部のスローガンである「剛健」のもと日々の稽古に励んでいきたいと思えます。

◆ 柔道部

顧問 岡 荒井 ゆり子
前部長 楊 深谷 健
現部長 小関 藍宇

令和六年度の米沢興譲館高校柔道部は、

◆ 弓道部

顧問 村上 由樹
旧部長 佐藤 由惟
現部長 堤 野陽 菜理

今年度の弓道部は、全国大会出場を目標に、一人ひとりが高みを目指して日々の練習に真摯に取り組み、技術の向上に

努めてきました。その成果として、県新入大会では女子個人ベスト4、県選抜大会では女子団体が見事三位入賞し、さらに射道優秀賞を受賞するという快挙を成し遂げました。この賞は、技術のみならず射技そのものの美しさや射道精神が高く評価された結果であり、部員一同が弓道に真剣に向き合い、ひたむきに練習してきた努力の賜物です。日々の練習では部員同士が指導しあい、お互いに切磋琢磨し合う姿勢を大切にしてきました。今年度の課題としては、あと一射、あと一歩というところで優勝や上位大会進出を逃した試合が多く、そのたびに精神面の弱さを感じました。そこで、メンタルトレーニングを実施し、冷静さやぶれない集中力を養ってきました。これらの活動をとおして部員一人ひとりだけでなく、部活動全体が組織として大きな成長を感じられる一年でした。来年度はさらなる上位大会を目指し、目標を達成すべく精進していきます。

◆ホッケー部(男子)

顧問 小池 公善
今崎 徹郎
手塚 剛
前部長 中野 凌悟
現部長 我妻 聖基

今年度私たち男子ホッケー部は、一年生が四名入部し、二年生一名、三年生九名、マネージャー二名の計十六名でスタートしました。
今年度も、「全国高校総体ホッケー競技大会出場」を目標に遠征や日々の練習をとおして、技術面、体力面、精神面を鍛え団結力も深めることができました。
地区高校総体と県高校総体では、置賜

農業高校と対戦しました。地区高校総体では七対〇で敗戦。県高校総体でも負けはしたものの、三対〇という点差まで縮めることができました。全国高校総体東北地区予選では一回戦、岩手県立不来方高校と対戦し後半に得点を挙げ、一対〇で競り勝つことができました。準決勝の相手は岩手県立沼宮内高校。試合は十対〇で負けてしまいました。全国トップクラスのチームとの対戦からさまざまな課題を見つけることができました。この試合が、三年生の引退試合となりました。三年生が果たせなかった思いを引き継ぎ、全国大会出場の切符をつかむことを決意しました。

新チームになると部員が五人となってしまうました。普段の練習や練習試合では女子と合同で行いました。地区新人大会と県新人大会のどちらも人数不足の為に出場することができませんでした。今後は新チームとして技術面と体力面での向上と、部員獲得しチームを作って全国大会出場という目標に向かって練習を頑張っていきたいです。

◆ホッケー部(女子)

顧問 今崎 徹郎
小池 公善
手塚 剛
前部長 阿部 璃乃愛
現部長 五十嵐 沙優

本校女子ホッケー部は、三年生三名、一年生七名の計十名で活動を開始しました。私たち一年生が入部する前は人数不足で大会に出場することができなかったため、大会に出場できる喜びを感じながら日々の練習に励みました。春の地区高校総体では米沢商業高校と対戦しました

が、善戦むなしく敗れ、準優勝で県高校総体出場を果たしました。県高校総体でも米沢商業高校に力及ばず敗れましたが、山形県準優勝で東北選手権大会に出場することができました。東北選手権大会では岩手県立不来方高等学校に敗北し、三年生はこれをもって引退となりましたが、公式戦に出場することができ、チーム一丸となって戦うことができたことは貴重な経験となりました。

新チームとなった私たちは、やはり人数不足が問題でしたが、無事に助っ人を借りることができ、地区新人戦に出場することができました。練習では、米沢商業高校との試合で得点差を小さくすることを目標に、基礎やチームプレーの向上に注力しました。地区新人戦では前半は得点をかなり抑えることができましたが、後半になるにつれ疲労蓄積し得点差が開いてしまいました。私たちはその経験を活かし、県新人大会に向け体力向上とセツトプレーなどの練習をしてきました。県新人大会では、私たちが活動してきた中で一番と言って良い試合を展開することができました。結果は惨敗し、課題も残りしましたが、多くのものを得ることができました。今後は個々のスキルをさらに磨き、チーム力を向上させ、また、支えてくださる先生や保護者の方々への感謝を忘れず、努力を重ねていきます。

◆スキー部

顧問 坂野 理絵
前部長 山山 大聖
現部長 山口 貴弘

今年度は二人の新入部員を迎え、二年男子ジャンプ、二年男子アルペン、一年



女子スノーボード、一年女子基礎スキーの四人で日々切磋琢磨してきました。四人それぞれが、それぞれの種目と目標をもって活動してきました。春からスキーに向けて体力、筋力のトレーニングを重ねました。ジャンプは夏場もサマージャンプの各大会に参加してきました。蔵王サマージャンプ大会六位、妙高ミタカカップ六位、鹿角全国ジュニアサマーノルディックスキー大会二十九位といった昨年度と比べて大きく順位を上げた成績をのこしました。

今年度は、昨年度よりも積雪が多く、十二月中旬から雪上トレーニングが始まりました。これからの県高校総体、国民スポーツ大会に向けて十二月から一月にかけて合宿、大会への参加を重ね準備をしていきます。いずれも、興譲館高校の代表として、上位大会への進出を目指して、堂々と戦いを進めていきます。

令和6年度置賜地区高等学校総合体育大会各競技学校対抗成績一覽

No.	種目名	男 子			No.	種目名	女 子				
		優勝	2位	3位			優勝	2位	3位		
1	陸上競技	九里学園	米沢中央	米沢興譲館	1	陸上競技	九里学園	米沢興譲館	米沢中央		
2	登 山	米沢興譲館	米沢工業		2	登 山	米沢興譲館				
3	剣 道	米沢中央	米沢興譲館	米沢工業	九里学園	3	剣 道	米沢中央	米沢興譲館	米沢東・九里	長井工業
4	柔 道	米沢中央	米沢工業	置賜農業		4	柔 道	米沢中央	置賜農業	米沢工業	
5	弓 道	長 井	米沢工業	米沢興譲館		5	弓 道	長 井	米沢東	米沢興譲館	
6	バスケットボール	米沢中央	米沢興譲館	米沢工業	南 陽	6	バスケットボール	米沢東	長 井	九里学園	南 陽
7	バレーボール	米沢中央	長 井	米沢工業		7	バレーボール	米沢中央	長 井	米沢東	
8	サッカー	米沢中央	米沢興譲館	長 井		8	サッカー				
9	ソフトボール					9	ソフトボール	米沢中央	長 井	南 陽	
10	ソフトテニス	米沢中央	米沢工業	米沢興譲館	長 井	10	ソフトテニス	長 井	米沢中央	米沢東	米沢興譲館
11	卓 球	米沢中央	九里学園	長 井	米沢興譲館	11	卓 球	米沢中央	米沢興譲館	長 井	九里学園
12	バドミントン	米沢興譲館	九里学園	米沢東	米沢工業	12	バドミントン	米沢興譲館	九里学園	長 井	長井工業
13	フェンシング	高 畠	米沢興譲館	米沢東		13	フェンシング	米沢興譲館	米沢東		
14	ホッケー	置賜農業	米沢興譲館			14	ホッケー	米沢商業	米沢興譲館		

令和6年度置賜地区高等学校新人体育大会各競技学校対抗成績一覽

No.	種目名	男 子			No.	種目名	女 子					
		優勝	2位	3位			優勝	2位	3位			
1	陸上競技				1	陸上競技						
2	登 山	米沢工業	米沢興譲館		2	登 山						
3	剣 道	米沢工業	米沢中央	九里学園	米沢興譲館	3	剣 道	米沢中央	米沢興譲館	長井・九里学園		
4	柔 道	米沢中央	置賜農業	米沢工業		4	柔 道	米沢中央	置賜農業	米沢興譲館	米沢工業	
5	弓 道	長 井	米沢興譲館	米沢工業		5	弓 道	米沢東	米沢興譲館	長 井		
6	バスケットボール	米沢中央	米沢興譲館	米沢東	南 陽	6	バスケットボール	長 井	九里学園	米沢興譲館	高 畠	
7	バレーボール	米沢中央	米沢興譲館	長 井		7	バレーボール	米沢中央	長 井	南 陽		
8	サッカー					8	サッカー					
9	ソフトボール					9	ソフトボール	米沢中央	長 井	南 陽		
10	ソフトテニス	雨天中止			10	ソフトテニス	雨天中止					
11	卓 球	米沢中央	九里学園	米沢興譲館	米沢工業	11	卓 球	米沢中央	米沢興譲館	長 井	九里学園	
12	バドミントン	長 井	米沢興譲館	米沢工業	九里学園	12	バドミントン	米沢興譲館	米沢工業	九里学園	米沢東	長 井
13	フェンシング	米沢東	米沢興譲館	高 畠		13	フェンシング	米沢東	米沢興譲館			
14	ホッケー	置賜農業				14	ホッケー	米沢商業	米沢興譲館			

令和6年度大会・コンクール等の結果一覧

体育系部活動	地区高校総体	県高校総体	地区高校新人大会	県高校新人大会	その他の大会等
陸上競技	【男子】 総合 第3位 5000m 和田 歩大 第1位 3000障害 佐藤 龍 第1位 星澤 涼正 第3位 【女子】 トラック第2位、 フィールド第3位、総合 第2位 1500m 竹田 栞 第1位 東條 真央 第2位 3000m 東條 真央 第1位 竹田 栞 第2位 須崎 志保 第3位 100mH 渡部向日葵 第2位 走高跳 澤 悦菜 第1位 走高跳 寒河江希実 第2位 走幅跳 渡部向日葵 第1位 砲丸投 情野 有香 第2位	【男子】 八種競技 渡部 日向 第6位 【女子】 100m 前田 実咲 第8位 走高跳 澤 悦菜 第6位 走幅跳 渡部向日葵 第1位 100mH 渡部向日葵 第2位 七種競技 渡部向日葵 第2位 3000m 竹田 栞 第6位 砲丸投 情野 有香 第5位 4×100mリレー 第8位 (前田、渡部、芳賀、寒河江) 女子トラック 第7位		【男子】 八種競技 渡部 日向 第2位 100m 松浦 悠真 第7位 走高跳 渡邊 泰玄 第3位 【女子】 400m 渡部 桃子 第6位 3000m 東條 真央 第7位 走高跳 寒河江希実 第6位 三段跳 芳賀 理乃 第8位 砲丸投 情野 有香 第2位 女子4×100mリレー 第5位 (情野、芳賀、駒村、室屋)	東北高校総合体育大会 【女子】 七種競技 渡部向日葵 第3位 (インターハイ出場) 全国高等学校総合体育大会 【女子】 七種競技 渡部向日葵 第16位 国スポ予選 【女子】 砲丸投 情野 有香 第3位 走幅跳 渡部向日葵 第2位 100mH 渡部向日葵 第2位 女子少年A800m 渡部 桃子 第3位 東北高校新人選手権大会 【男子】 混成八種競技 渡部 日向 第13位 走高跳 渡邊 泰玄 【女子】 砲丸投 情野 有香 第22位 第75回山形県高等学校総合体育大会 大会駅伝競走大会 【男子】 第12位 【女子】 第7位
	硬式野球	2回戦 対 鶴岡工業 4-3 3回戦 対 羽黒 2-11		2回戦 対 羽黒 不戦勝 3回戦 対 羽黒 2-11	第71回東北地区高等学校野球山形県大会 シード決定ブロック大会 2回戦 対 新庄神室産業 20-0 決定戦 対 山形中央 5-6 第71回東北地区高等学校野球山形県大会 1回戦 対 酒田南 0-7
バスケットボール	【男子】 1回戦 対 長井 73-58 準決勝 対 米沢工業 66-47 決勝 対 米沢中央 46-135 【女子】 1回戦 対 南陽 50-73	【男子】 1回戦 対 東桜学館 71-43 2回戦 対 山形商業 37-93 【女子】 1回戦 対 上山明新館 53-55	【男子】 1回戦 対 置賜農業 162-12 準決勝 対 米沢東 82-56 決勝 対 米沢中央 39-112 【女子】 1回戦 対 南陽・米沢東 76-55 準決勝 対 九里学園 63-71 順位決定戦 対 高畠 98-67	【男子】 1回戦 対 日大山形 42-79 【女子】 1回戦 対 東海大山形 42-88	第35回山形県高等学校バスケットボール選手権大会 【男子】 1回戦 対 酒田光陵 48-60 【女子】 1回戦 対 羽黒 43-87
バレーボール	総当たり戦 対 長井 0-2 対 米沢中央 0-2 対 米沢中央 1-2 対 長井工業 2-0 第4位	1回戦 対 山形学院 0-2	対 米沢中央 0-2 対 米沢工業 2-1 対 長井 2-0 よって第2位	対 山形工業 1-2	安部杯争奪置賜地区高等学校バレーボール選手権大会 対 米沢中央 0-2 対 長井 0-2 対 米沢工業 2-1 第4位
サッカー	予選リーグ 対 米沢工業 3-1 対 南陽・長井工業合同 5-0 対 長井 0-1 決勝 対 米沢中央 1-2	1回戦 対 山形東 2-1 2回戦 対 山形城北 1-4		1回戦 対 長井 0-1	第103回全国高等学校サッカー選手権大会山形県大会 1回戦 対 榎山 2-1 2回戦 対 酒田南 0-2
卓球	【男子】 学校対抗 第3位 県大会出場 1回戦 対 米沢工業 3-1 準決勝 対 九里学園 0-3 ダブルス 遠藤 佑馬・寒河江恋翔 ベスト8 寒河江恋翔・濱田 空良 ベスト16 シングルス 濱田 空良 ベスト16 寒河江恋翔 ベスト32 新野 蒼佑 ベスト32 【女子】 学校対抗 第2位 県大会出場 準決勝 対 九里学園 3-1 決勝 対 米沢中央 0-3	【男子】 学校対抗 1回戦 対 創学館 0-3 【女子】 学校対抗 ベスト8 1回戦 対 酒田東 3-0 2回戦 対 山形西 3-0 3回戦 対 山形学院 0-3 シングルス 高木 夏奈 3回戦敗退 他2回戦まで敗退	【男子】 学校対抗 第3位 1回戦 対 米沢東 3-1 準決勝 対 米沢中央 0-3 シングルス 濱田 空良 ベスト8 新野 蒼佑 ベスト8 【女子】 学校対抗 第2位 1回戦 対 長井 3-0 決勝戦 対 米沢中央 1-3	【男子】 学校対抗 1回戦 対 山形中央 3-1 2回戦 対 寒河江 2-3 (シングルス全員2回戦まで敗退) 【女子】 学校対抗 2回戦 対 寒河江 0-3 (シングルス全員2回戦まで敗退)	

体育系部活動	地区高校総体	県高校総体	地区高校新人大会	県高校新人大会	その他の大会等
卓球	ダブルス 佐藤 穂・高木 夏奈 第2位 シングルス 佐藤 穂 ベスト8 高木 夏奈 ベスト8 渦湊 妃乃 ベスト16 以上、県大会出場		シングルス 高木 夏奈 第3位 渦湊 妃乃 第3位 棚村 桜子 ベスト9 安達 小雪 ベスト9 以上、県大会出場		
ソフトテニス男子	予選リーグ 対 長井 0-2 決勝トーナメント 1回戦 対 米沢東 2-0 準決勝 対 米沢中央 0-2	1回戦 対 酒田光陵・酒田東 2-1 2回戦 対 東海大山形 1-2	団体 実施せず 個人 安孫子恒佑・酒井 心 2回戦敗退	団体 1回戦 興譲館南陽合同 ×-0 致道館	
ソフトテニス女子	団体 第3位 予選リーグ 1回戦 対 米沢東 2-1 決勝トーナメント 1回戦 対 米沢工業・米沢商業 2-0 2回戦 対 米沢中央 0-2 個人 県大会出場4ペア	団体 1回戦 対 上山明新館 3-0 2回戦 対 山形商業 0-3 個人 井上 琴都・原 千夏 2回戦敗退 阿部 桃子・増茂 陽花 2回戦敗退 新藤 玲奈・富田 泉海 1回戦敗退 二宮 菜緒・田村 佳恋 1回戦敗退	団体 第6位 (実施せず個人戦のポイント集計により決定) 個人 阿部 桃子・富田 泉海 ベスト16(県大会出場) 阿部 千那・佐藤 優衣 1回戦敗退 五十嵐優花・鈴木 海夕 1回戦敗退 下嶋 優実・小幡 恭子 1回戦敗退 漆山 さち・佐藤 優笑 1回戦敗退	団体 1回戦 対 上山明新館 3-0 2回戦 対 東海大山形 0-3 個人 阿部 桃子・富田 泉海 1回戦敗退	第78回国民スポーツ大会山形県予選会 阿部 桃子・富田 泉海 1回戦敗退
柔道	【男子】 個人 66kg級 楊 宇 2回戦敗退 【女子】 個人 63kg級 板垣 涼子 第2位	【男子】 個人 66kg級 1回戦敗退 【女子】 個人 63kg級 第3位	【女子】 団体 第3位 対 米沢中央 0-3 個人 70kg級 小関 藍 第2位	1回戦敗退 対 酒田南 0-2	全国高等学校柔道選手権 1回戦敗退
剣道	【男子】 団体 準優勝 予選Aリーグ 1回戦 対 長井 4-0 勝利 2回戦 対 米沢中央 1-3 敗北 決勝トーナメント 準決勝 対 米沢中央 0-4 敗北 【女子】 団体 準優勝 決勝リーグ 1回戦 対 長井工業 3-0 勝利 2回戦 対 米沢東・九里学園 5-0 勝利 3回戦 対 米沢中央 0-5 敗北 個人 男女ともに最高3回戦敗退	男女とも3回戦まで	【男子】 団体 第3位 予選 対 米沢工業 ×1-3 対 長井工業 0-5-0 準決勝 対 米沢中央 0-4 個人 佐藤 健太 県大会出場 新保 彰人 県大会出場 河内 僚佑 県大会出場 【女子】 団体 第2位 決勝リーグ 対 米沢中央 ×0-4 対 長井・九里学園 3-0 個人 沖田 美涼 県大会出場	【男子】 予選 対 致道館 0-2-1 対 山形工業 ×1-2 予選敗退 【女子】 予選 対 山形城北 ×0-3 ベスト8	
弓道	【男子】 団体 第3位 80射27中 個人 小嶋 晟也 第3位 8射6中 射誌競射 藤本 雅樹 8射4中 県大会出場 【女子】 団体 第3位 80射29中 射誌競射 対 九里学園 1-1、2-2、2-1 個人 鈴木菜々子 第1位 8射6中 藤村 愛依 8射5中 遠近競射 県大会出場 鈴木 凛奈 8射5中 遠近競射 県大会出場	【男子】 団体 予選敗退 60射18中 個人 小嶋 晟也 8射4中 予選敗退 藤本 雅樹 8射3中 予選敗退 【女子】 団体 予選敗退 60射19中 個人 藤村 愛依 予選8射5中 準決勝 4射1中 射誌競射 準決勝敗退 鈴木菜々子 8射3中 予選敗退 鈴木 凛奈 8射3中 予選敗退 堤 樹理 8射3中 予選敗退	【男子】 団体 第2位 40射11中 射誌競射 個人 渡部 瑛良 第2位 8射5中 県大会出場 【女子】 団体 第2位 40射17中 個人 堤 樹理 8射5中 遠近競射 県大会出場	【男子】 団体 40射13中 予選敗退 個人 渡部 瑛良 8射3中 予選敗退 【女子】 団体 40射8中 予選敗退 個人 堤 樹理 ベスト4 予選 8射5中 通過 決勝 4射2中 射誌競射	全国高校選抜県大会 【女子】 団体 第3位(射道優秀賞) 予選 24射13中 2位通過 準決勝 12射11中 1位通過 決勝 12射5中 2位決定競射 対 致道館 1-2 × 全国高校選抜地区予選 【男子】 団体 36射9中 【女子】 団体 第3位 射誌競射 36射13中

体育系 部活動	地区高校総体	県高校総体	地区高校新人大会	県高校新人大会	その他の大会等
弓道	堤 樹理 8射4中 県大会出場				地区高校弓道リーグ大会 【男子】 団体 第2位 対 米沢商業 5-2 ○ 対 長井工業 8-8 △ 対 米沢工業 4-6 × 対 長井 9-7 ○ 対 九里学園 5-4 ○ 対 米沢東・置賜農業 5-2 ○ 4勝1敗1分 勝ち点9 120射36中 【女子】 団体 第2位 対 米沢商業 6-2 ○ 対 長井 8-9 × 対 米沢工業 9-1 ○ 対 九里学園 6-3 ○ 対 米沢東 4-2 ○ 対 南陽 4-5 × 4勝2敗 勝ち点8 120射37中 春季市民体育祭兼置賜地区大会 【男子】 団体 射詰競射 第1位 小嶋・四柳・横山 24射11中 個人 四柳 諒真(3-5)第3位 8射5中 遠近競射 【女子】 団体 第1位 八巻・藤村・杉本 24射11中 第3位 島倉・花輪・種村 24射9中 個人 八巻 美優 第4位 8射5中 遠近競射 情野 陽菜 第5位 8射5中 遠近競射 種村 優菜 技能優秀賞 米沢弓道連盟杯争奪弓道大会 【女子】 団体 第1位 堤・鈴木・種村 36射15中 個人 鈴木 凜奈 第4位 12射7中 遠近競射 堤 樹理 技能優秀賞 グリヤ杯弓道大会兼置賜地区弓道大会 【女子】 団体 射詰競射 第1位 10射13中 県高校1年生大会 【男子】 個人 樋口 智樹 第3位 12射8中 遠近競射 藤橋 寛大 第4位 12射8中 遠近競射
山岳	【男子】団体 第1位 【女子】団体 第1位	【男子】団体 A隊エントリー 途中棄権(第9位) 【女子】団体 C隊エントリー 無事踏破(順位なし)	【男子】第1位	【男子】無事踏破	
バドミントン	【男子】 団体 第1位 1回戦 対 南陽 3-0 準決勝 対 米沢東 3-0 決勝 対 九里学園 3-1 ダブルス 齋藤 諒汰・西部 陽翔 第1位 佐藤 祐希・鈴木 藤真 第3位	【男子】 団体 第3位 1回戦 対 山形城北 3-0 2回戦 対 寒河江 3-0 準々決勝 対 致道館 3-2 準決勝 対 新庄東 0-3 ダブルス 齋藤 諒汰・西部 陽翔 ベスト8 佐藤 祐希・鈴木 藤真 1回戦敗退	【男子】 団体 第2位 準決勝 対 米沢東 3-1 決勝 対 長井 1-3 ダブルス 山川 藍良・鈴木 陽斗 第1位 シングルス 山川 藍良 第2位 鈴木 陽斗 第3位	【男子】 団体 1回戦 対 山形南 0-3 【女子】 団体 ベスト8 1回戦 対 鶴岡中央 3-2 準々決勝 対 山形城北 0-3 シングルス 高橋 真央 ベスト8	

体育系部活動	地区高校総体	県高校総体	地区高校新人大会	県高校新人大会	その他の大会等
バドミントン	小野 颯太・金子 稜平 第5位 山川 藍良・鈴木 陽斗 第9位 シングルス 西部 陽翔 第1位 齋藤 諒汰 第2位 鈴木 藤真 第5位 山川 藍良 第9位 【女子】 団体 第1位 1回戦 対 米沢東 3-1 準決勝 対 長井 3-1 決勝 対 九里学園 3-1 ダブルス 大戸 郁実・高橋 真央 第1位 シングルス 高橋 真央 第3位 大戸 郁実 第5位 高梨遥乃香 第9位 以上県大会出場	小野 颯太・金子 稜平 2回戦敗退 山川 藍良・鈴木 陽斗 2回戦敗退 シングルス 西部 陽翔 ベスト8 齋藤 諒汰 ベスト16 鈴木 藤真 2回戦敗退 山川 藍良 1回戦敗退 【女子】 団体 ベスト8 1回戦 対 日大山形 3-1 2回戦 対 新庄南 3-1 準々決勝 対 山形商業 1-3 ダブルス 大戸 郁実・高橋 真央 ベスト16 シングルス 大戸 郁実 1回戦敗退 高橋 真央 2回戦敗退 高梨遥乃香 2回戦敗退	【女子】 団体 第2位 準決勝 対 南陽 3-0 決勝 対 米沢工業・九里学園 2-3 ダブルス 高橋 真央・高梨遥乃香 第2位 シングルス 高橋 真央 第1位 高梨遥乃香 第2位 以上県大会出場		
	【男子】 学校対抗 第2位 個人 フルレー 藤田 健吾 第1位 岩瀬 雄哉 第3位 エベ 藤田 健吾 第1位 坂本ダヴィ 第3位 【女子】 学校対抗 第1位 個人 フルレー 山水 仁子 第2位 長谷川真子 第3位 山岸 詩和 第3位 エベ 山岸 詩和 第1位 長谷川真子 第3位 山水 仁子 第3位	【男子】 学校対抗 第2位 個人 フルレー 藤田 健吾 第1位 エベ 藤田 健吾 第1位 坂本ダヴィ 第2位 【女子】 学校対抗 第1位 個人 フルレー 長谷川真子 第1位 エベ 山水 仁子 第1位 山岸 詩和 第2位 長谷川真子 第3位	【男子】 学校対抗 第2位 個人 フルレー 有賀 友亮 第3位 エベ 米木 脩人 第2位 有賀 友亮 第3位 【女子】 学校対抗 第2位 個人 フルレー 高橋 梨愛 第3位 エベ 山岸 詩和 第2位 高橋 梨愛 第3位 杉浦 怜奈 第3位	【男子】 学校対抗 第3位 個人 エベ 米木 脩人 第3位 【女子】 学校対抗 第3位 個人 エベ 石原 葉里 第2位 高橋 梨愛 第3位 杉浦 怜奈 第3位	第48回全国高等学校選抜大会フェンシング大会 【男子】エベ団体 第3位 【女子】エベ団体 ベスト16 第62回東北高校フェンシング選手権大会 【男子】 学校対抗 第3位 個人 エベ 坂本ダヴィ 第5位 【女子】 学校対抗 出場 個人 エベ 山水 仁子 第3位 山岸 詩和 第7位 佐賀インターハイ 【男子】 個人 フルレー 藤田 健吾 ベスト64 エベ 藤田 健吾 ベスト32 坂本ダヴィ ベスト16 【女子】 団体 出場 個人 フルレー 長谷川真子 ベスト64 エベ 山水 仁子 ベスト64 山岸 詩和 予選敗退 第77回全日本フェンシング選手権大会(個人戦) 【女子】 エベ 山岸 詩和 第53位 第77回全日本フェンシング選手権大会(団体戦) 【男子】団体エベ 出場 【女子】団体エベ 出場 第49回全国高等学校選抜大会フェンシング大会北海道・東北予選 【女子】エベ団体 第2位 第49回全国高等学校フェンシング大会 【女子】エベ団体 出場
ホッケー	【男子】 対 置賜農業 0-7 【女子】 対 米沢商業 0-23	【男子】 決勝 対 置賜農業 0-3 【女子】 決勝 対 米沢商業 0-16	【女子】 決勝 対 米沢商業 0-19	【女子】 決勝 対 米沢商業 0-11	東北高校選手権大会 【男子】 予備トーナメント戦 対 不來方(岩手県) 1-0 準決勝 対 沼宮内(岩手県) 0-10 第3位 【女子】 準決勝 対 不來方(岩手県) 0-15

体育系部活動	地区高校総体	県高校総体	地区高校新人大会	県高校新人大会	その他の大会等
水泳	【男子】 学校対抗 第3位 個人 100m平泳ぎ 上田 一樹 第1位 200m平泳ぎ 上田 一樹 第1位 100m平泳ぎ 結城 陽大 第2位 200m平泳ぎ 結城 陽大 第2位	【男子】 個人 100m平泳ぎ 上田 一樹 第7位 (東北大会出場) 200m平泳ぎ 上田 一樹 第5位 (東北大会出場) 100m平泳ぎ 結城 陽大 第9位 200m平泳ぎ 結城 陽大 第9位			東北高校水泳競技大会 個人 100m平泳ぎ 上田 一樹 第44位 200m平泳ぎ 上田 一樹 第43位
スキー	なし	AL 男子大回転競技 山口 貴弘 第14位 男子回転競技 山口 貴弘 第11位 (学校枠によりインターハイ出場) JP 男子スペシャルジャンプ 村山 賢助 第3位 (インターハイ出場)	男子大回転競技 山口 貴弘 第2位 男子回転競技 山口 貴弘 第1位		県総合スキー大会国スポ予選 スペシャルジャンプ 村山 賢助 第3位 (第79回国民スポーツ大会出場) 第79回国民スポーツ大会冬季大会 スキー競技会あきた鹿角国スポ 2025 スペシャルジャンプ 少年男子 村山 賢助 第8位
校外活動					

部活動名	活動報告
調理科学	高校生山形のうまいもの商品化開発コンテスト 商品化大賞 And MERC I賞 佐々木那菜美・淀川 琴音・渋谷 優里・竹田 天夢 山形県教育局高校教育課長賞 青野 心美・岡崎 もか・佐藤 思唯 山大アルファ化米粉レシピコンテスト2024 優秀賞 青野 心美・淀川 琴音 優良賞 吉野 早稀・齋藤 るり
美術	第48回全国高等学校総合文化祭さふ総文 横澤 実莉「視線」県代表出品 第74回置賜地区高校美術展 特選 嶋倉 優斗 奨励賞 江袋 光咲・渡辺さくら・土屋裕友夢 山形県総合文化祭 奨励賞 石谷 海羽「喜哀」・渡辺さくら「滲み出す今日、理想郷」・土屋裕友夢「明」 第75回緑光会展 高校生特別賞 石谷 海羽「見て！」 奨励賞 渡辺さくら「青然」 令和6年度第36回読書感想画中央コンクール山形県審査会 【指定読書】高等学校の部 最優秀 嶋倉 優斗 全国審査会へ
音楽	6月8日 第60回置賜地区高等学校合唱祭 9月16日 ツクイ米沢訪問演奏ボランティア 10月19日 イオン米沢店で演奏会(米沢中央高校音楽部と合同) 10月20日 「青少年のためのクラシック入門コンサート」出演 12月21日 第61回置賜地区高等学校合唱祭 1月13日 「山響ユータウンコンサート米沢公演」出演 2月11日 第35回山形県声楽アンサンブルフェスティバル
吹奏楽研究	4月29日 上杉まつり 5月5日 定期演奏会リハーサル兼子どもえんそうかいおよびがっきたいいけん・かんさつかい(県生涯学習財団令和6年度青少年地域学習活動助成金事業) 5月6日 第59回定期演奏会(米沢市市民文化会館) 7月21日 置賜地区吹奏楽連盟定期演奏会兼山形県吹奏楽コンクール置賜地区予選 〈優秀〉(長井市市民文化会館) 8月2日 山形県吹奏楽コンクール 〈銀賞〉(やまぎん県民ホール) 8月31日 興譲祭一般公開ステージ(本校コモンホール) 9月2日 出前ライブ(緑ヶ丘保育園、明星保育園、吾妻保育園、青そら保育たけのこ、米沢中央保育園) 10月14日 「吹奏楽の日」コンサート2024(伝国の杜) 10月20日 南原地区音楽祭(旧米沢市立南原中学校) 11月4日 出前ライブ(老人福祉施設「やまぼうし」)、「なごみの部屋」 11月12日 アンサンブル校内演奏会(本校音楽室) 12月22日 置賜地区アンサンブルコンテスト 木管8重奏(金賞・代表) 金管8重奏(金賞) 金管5重奏(金賞・代表) 12月27日 全日本中学生・高校生感打楽器ソロコンテスト南東北大会(仙台市宮城野区文化センター)(Hn・佐々木 凜 銅賞) 1月19日 山形県アンサンブルコンテスト(酒田希望ホール) 木管8重奏(銀賞) 金管5重奏(銅賞) 3月22日 置賜地区高文連吹奏楽専門部合同演奏会(伝国の杜/予定)
新聞・文芸	第48回全国高等学校総合文化祭さふ総文文芸部門 出場 鈴木 香奈 第23回山形県高校文芸コンクール 散文部門 優秀賞 千葉 漣二 (次年度第49回全国高等学校総合文化祭香川総文文芸部門に参加推薦決定) 県高校総合文化祭 散文部門 高文連賞 千葉 漣二
CSSC (コアスーパー サイエンス クラブ)	・2024年度東北大学「科学者の卵」養成講座 研究発展コース→研究重点コースへ進展 2年 末野 莉子・2年 土屋 心宇 研究基礎コース→研究発展コースへ進展 2年 安部 舜舵 研究基礎コース 1年 木村 明莉・1年 庄司 朗・1年 新野 日穂・1年 小林 恒平・2年 鈴木 敬太 ・第48回全国高等学校総合文化祭 自然科学部門 ポスター(パネル)発表の部 出場 「ガラスウール充填ポリプロピレン複合材料を用いた3D造形品の作製と物性評価」 3年 横山 夢人

部活動名	活動報告
C S S C (コアスーパー サイエンス クラブ)	<ul style="list-style-type: none"> ・WRO2024Japan山形地区大会(県大会) ROBO MISSIONカテゴリー エキスパート競技 シニア部門 第1位 2年 安部 舜舵・2年 伊藤 共広・2年 田村 元→決勝大会(全国大会)シード枠進出 第2位 2年 栗野 魁斗・2年 阪野 優智・2年 舟山 真弘 出場 2年 樋口 優人・1年 小林 恒平 ・WRO2024Japan決勝大会in富山(全国大会) ROBO MISSIONカテゴリー エキスパート競技 シニア部門 シード枠出場 2年 安部 舜舵・2年 伊藤 共広・2年 田村 元 ・パソコン甲子園2024 プログラミング部門 予選 参加 2年 安部 舜舵・2年 栗野 魁斗・2年 長澤 海・2年 阪野 優智・2年 沼尾 斗真・2年 田村 元・2年 松山 優・2年 樋口 優人・ 2年 竹田 陽喜・2年 舟山 真弘 もうひとつの本選 参加 2年 安部 舜舵・2年 栗野 魁斗・2年 長澤 海・2年 阪野 優智・2年 沼尾 斗真・2年 田村 元・2年 松山 優 ・マリンチャレンジ2024 認定研究「キタノメダカ及びミナミメダカの生息域調査」 2年 末野 莉子・2年 土屋 心宇・2年 鈴木 寛大・2年 富樫 和真 ・マリンチャレンジ2024 東北・北海道大会 発表 「キタノメダカ及びミナミメダカの生息域調査」 2年 末野 莉子・2年 土屋 心宇・2年 鈴木 寛大・2年 富樫 和真 ・サイエンスキャッスル研究費 ものづくり0.THK賞 認定研究「多方位風力発電装置」→成果発表会にて奨励賞受賞 2年 安部 舜舵・2年 鈴木 康太・2年 今野 和・2年 沼尾 斗真 ・山形大学認定ナセバース研究グループ主催「めーかーずフェスタ2024 de 米沢」出展 「多方位風力発電装置の作成」 2年 安部 舜舵・2年 鈴木 康太・2年 今野 和・2年 沼尾 斗真 ・第24回日本情報オリンピック 敢闘賞(一次予選Bランク)→二次予選進出 1年 木村 鷹詠 ・山形県高等学校総合文化祭 科学専門部 展示部門 ポスター発表 「キタノメダカ(<i>Oryzias sakaizumii</i>)とミナミメダカ(<i>Oryzias latipes</i>)の生息域調査」 2年 末野 莉子・2年 土屋 心宇・2年 鈴木 寛大・2年 富樫 和真・1年 新野 日穂・1年 木村 明莉 「山形県置賜地域におけるサンショウウオのmtDNA塩基配列解析」 2年 渡部 結衣・2年 青木 優羽・2年 鈴木 僚真・2年 山口 貴弘・1年 洪間 晴翔・1年 原 奈那 「環境の変化に伴う樹木の窒素吸収速度の変化」 1年 庄司 朗 「振動による枝豆の逆流について」 1年 小林 恒平 「バターのカリーミング性と温度の関係」 1年 金子 昂生 「水道インフラの健全性評価：機械学習による老朽化予測と漏水検出」 1年 木村 鷹詠 ・第47回日本分子生物学会年会 発表 「イネ振盪培養細胞を用いた黄色ブドウ球菌特異的抗菌タンパク質リゾスタフィンの生産」 2年 土屋 心宇 ・国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)主催 サイエンスカンファレンス2024 発表 「イネ振盪培養細胞を用いた黄色ブドウ球菌特異的抗菌タンパク質リゾスタフィンの生産」 2年 土屋 心宇 ・日本動物学会東北支部大会 発表 「山形県南部におけるキタノメダカ(<i>Oryzias sakaizumii</i>)・ミナミメダカ(<i>Oryzias latipes</i>)の生息域の継続調査」 2年 末野 莉子・2年 土屋 心宇・2年 鈴木 寛大・2年 富樫 和真・1年 新野 日穂・1年 木村 明莉 「山形県置賜地区におけるサンショウウオのmtDNAの塩基配列解析」 2年 渡部 結衣・2年 青木 優羽・2年 鈴木 僚真・2年 山口 貴弘・1年 洪間 晴翔・1年 原 奈那 ・第5回高校生両生類サミット 発表 「山形県置賜地区におけるサンショウウオのmtDNAの塩基配列解析」 2年 渡部 結衣・2年 青木 優羽・1年 洪間 晴翔・1年 原 奈那 ・第7回環境DNA学会つくば大会 中高生オンライン発表会 発表 「キタノメダカ及びミナミメダカの生息域継続調査」 2年 末野 莉子・2年 土屋 心宇・2年 鈴木 寛大・2年 富樫 和真 ・令和6年度山形県探究型学習課題研究発表会 高文連科学専門部の部 最優秀賞 「深層学習モーショントラッキングを用いたメキシコサンショウウオの行動解析-「ウーパールーパー」は縄張り行動を示すのか-」 2年 土屋 心宇・2年 渡部 結衣→令和7年度 第49回全国高等学校総合文化祭 自然科学部門 ポスター発表の部 出場決定 優秀賞(化学研究領域) 「分子側鎖の絡み合いによって外部刺激なしで自己修復性を示すゲル」 2年 富樫 和真→令和7年度 第49回全国高等学校総合文化祭 自然科学部門 研究発表の部 出場決定 優良賞(物理研究領域) 「乳酸菌飲料発電システムを用いた乳酸菌の種類と発電量の関連性の研究」 2年 田村 元 〈科学系講習会・サイエンスキャンプ等への参加〉 ・本校主催/山形大学工学部共催「サイエンスリーダー育成塾」所属 2年 青木 優羽・2年 安部 舜舵・2年 末野 莉子・2年 鈴木 寛大・2年 鈴木 康太・2年 鈴木 僚真・2年 土屋 心宇・2年 富樫 和真・ 2年 沖山 陽盛・2年 栗野 魁斗・2年 石山 海宇・2年 梅津 幸生・2年 奥崎 雄也・2年 鈴木 敬太・2年 伊藤 共広・2年 今野 和・ 2年 阪野 優智・2年 長澤 海・2年 沼尾 斗真・2年 松本 周・2年 松山 優・2年 吉田 颯汰・2年 渡部 結衣・2年 田村 元・ 2年 樋口 優人・2年 舟山 真弘 →2月開催「サイエンスリーダー育成塾 専門研究成果発表会」で英語での口頭発表を予定 ・「やまがたA I部」所属 2年 安部 舜舵・2年 沖山 陽盛・2年 栗野 魁斗・2年 阪野 優智・2年 竹田 陽喜・2年 沼尾 斗真・2年 舟山 真弘・1年 小林 恒平・ 1年 木村 鷹詠 →3月開催「やまがたA I甲子園」参加予定 ・山形大学スーパーエンジニアプログラミングスクール2024 修了 2年 鈴木 康太・2年 今野 和・2年 長澤 海・1年 小林 恒平 〈科学系ボランティア等への参加〉 ・美しい山形・最上川フォーラム主催 「身近な川や水辺の健康診断」(水質調査・水生生物調査) 2年 鈴木 康太・2年 鈴木 僚真・2年 土屋 心宇・2年 富樫 和真・2年 石山 海宇・2年 伊藤 共広・2年 今野 和・2年 阪野 優智・ 2年 長澤 海・2年 沼尾 斗真・2年 堀内 能末・2年 松本 周・2年 松山 優・2年 吉田 颯汰・2年 渡部 結衣・2年 安藤 洋介・ 2年 田村 元・2年 樋口 優人・2年 舟山 真弘・2年 三ヶ山晴仁・1年 木村 明莉・1年 洪間 晴翔・1年 庄司 朗・1年 新野 日穂・ 1年 原 奈那・1年 小林 恒平・1年 金子 昂生・1年 木村 鷹詠

部活動名	活動報告
<p>CSSC (コアスーパーサイエンスクラブ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・南陽市教育委員会社会教育課主催「放課後子ども教室」 高校生による科学実験・工作講座 運営 2年 安部 舜舵・2年 末野 莉子・2年 鈴木 寛大・2年 鈴木 康太・2年 富樫 和真・2年 栗野 魁斗・2年 梅津 幸生・2年 伊藤 共広・2年 阪野 優智・2年 長澤 海・2年 沼尾 斗真・2年 松山 優・2年 吉田 颯汰・2年 渡部 結衣・2年 田村 元・2年 樋口 優人・2年 舟山 眞弘・1年 木村 明莉・1年 渋間 晴翔・1年 庄司 朗・1年 新野 日穂・1年 原 奈那・1年 小林 恒平・1年 金子 昂生・1年 木村 鷹詠 ・2024青少年のための科学の祭典in山形 実験工作ブース運営 2年 今野 和・2年 松本 周・2年 樋口 優人・1年 小林 恒平・1年 金子 昂生・1年 木村 鷹詠
<p>SSクラブ (スーパーサイエンスクラブ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第6回高校生サイエンス研究発表会in第一薬科大学・日本薬科大学・横浜薬科大学2024 奨励賞(令和6年3月)「ウコギ葉の抗菌効果を活用した抗菌剤作成に向けて」 ※全国62校297本中奨励賞10本・6位相当 2年 田村 佳恋・2年 岩瀬 雄哉・2年 嶋貫 陽仁・2年 中川 涼花 ※学年は令和5年度 ・2024年度東北大学「科学者の卵」養成講座 研究基礎コース→研究重点コースへ進展 2年 鈴木 由衣・1年 平間 愛二 特別聴講生 1年 鍾水 悠大 ・日本化学学会 化学グランプリ 東北地区大会 優秀者 3年 上浦 英樹 ・日本オーチス・エレベータ株式会社主催「Made to Move Communities」2024 日本予選大会 (全国5校)第2位 2年 青木 優羽・2年 安部 舜舵・2年 鈴木 康太・2年 今野 和・2年 沼尾 斗真・2年 皆川 舜・1年 渋間 晴翔・1年 原 奈那・1年 木村 明莉・1年 小林 恒平 ・タイ マッタヨムワットナイローン校主催「第8回ナイローン国際学生会議」参加 2年 五十嵐優花・2年 藤村 愛依・2年 室屋 咲空 ・全国中高教育模擬国連研究会主催 「第8回全国高校教育模擬国連大会(AJEMUN 2024)」参加 2年 小野 瑞稀・2年 情野 咲花・2年 伊藤 優美・2年 片桐 拓人 ・南陽市青年団/青年教育推進事業実行委員会主催 「令和6年度 置賜地区高校生まちづくりワークショップ」参加 1年 木村 明莉・1年 庄司 朗・1年 原 奈那・2年 安部 颯翔 ・日本財団主催「海と日本プロジェクト」 海洋ごみ削減のための高校生アイデアコンテスト 優秀賞 2年 安部 舜舵・2年 沖山 陽盛・2年 鈴木 康太 サイエンスで賞 2年 栗野 魁斗・2年 渡部 日向 ・令和6年度山形県探究型学習課題研究発表会 一般の部 最優秀賞 「環境DNAを用いた野生メダカの生息域マップの作成」 2年 土屋 心宇・2年 末野 莉子・2年 富樫 和真 優秀賞(生物・農学・医療研究領域) 「山形県置賜地域におけるサンショウウオのmtDNA塩基配列解析」 2年 渡部 結衣・2年 青木 優羽・2年 山口 貴弘 ・東北地区農業遺産サミット 研究事例紹介 「サフラワーイエローに特化したベニバナ型太陽電池の性能向上」 2年 宍戸 孝成・2年 鈴木 寛大・2年 佐藤 健太・2年 鈴木 蛭助 「遠山かぶ(Brassicarpa Rapifera Group)の培養～種の保存を目指す～」 2年 川上 大智・2年 茂木 丈瑠・2年 吉村 美玖 ・山形大学スーパーエンジニアプログラミングスクール2024 修了 1年 竹田 春輝・1年 濱田 空良・1年 竹田 広明・1年 横山 侑史 ・山形県教育旅行誘致協議会主催「2025 グローバル・サミット"Be a Bridge"」参加 1年 木村 明莉・1年 原 奈那 ・東北地区サイエンスコミュニティ研究校発表会 研究発表 「セルロースナノファイバー(CNF)発泡緩衝材作成方法」 2年 我妻 瑞望・2年 梅津 想奈・2年 種村 優菜・2年 原田 彩椰・2年 堀川しずく 「軽量気泡コンクリートの簡易的な新作成方法の模索」 2年 梅津 幸生・2年 奥崎 雄也・2年 高木 翔太・2年 佐藤 大陸・2年 坂本 珠里・2年 鈴木 遥人 ・JICA主催国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2024 高校生の部 文部科学大臣賞 1年 渡會 愛香
<p>ESS</p>	<p>令和6年度山形県高校生英語ディベート大会 第3位</p>

令和六年度 事業報告

1 理事・幹事合同会議

令和六年四月十八日(木) 本校会議室

・令和四年度事業報告(案)及び決算報告(案)

・令和五年度役員構成(案)

・令和五年度事業計画(案)及び予算(案)

2 総会

令和六年四月二十六日(金) 本校講堂

・令和四年度事業報告(案)及び決算報告(案)

・令和五年度役員構成(案)

・令和五年度事業計画(案)及び予算(案)

3 地区高校総体壮行式

令和六年五月九日(木) 本校講堂

4 県高校総体等壮行式

令和六年五月三十日(木) 本校講堂

・会長激励(都合により会長欠席)

5 各部OB代表・部活動顧問との顔合わせ会

五月下旬

・中止

7 全国高校総体等壮行式

令和六年六月二十七日(木) 本校講堂

・会長激励(都合により会長欠席)

8 賛助会員募集・会費納入依頼

令和六年七月吉日

9 地区高校新人等壮行式

令和六年九月七日(木) 本校講堂

11 部活OB大会(OB連合会主催)

十一月下旬

・中止

12 体育文化後援会表彰

令和六年十二月二十四日(火) 本校講堂

・会長より一個人一団体を表彰

13 会報発行

令和七年三月一日(金)

14 大会・強化遠征などへの補助

15 施設整備

令和六年度 体育文化後援会役員

顧問 土澤 幸雄

会長 内藤 文徳

副会長 小島長五郎

吉田 直史(校長)

宍戸 俊文(二学年)

宗川 真希

安部 徳朗(三学年)

白井 裕久(一学年)

井家 勝己(教頭)

我妻 弘一

原田 正夫

井家 勝己(教頭)

多田 実(事務部長)

手塚 剛(生徒課長)

佐藤 好由(総務課長)

山崎礼伊児(二学年)

鈴木 基

鈴木 文雄

酒井 仁(三学年)

高木 真也(二学年)

鏡 大聖(職員)

坂野 理絵(職員)

山口 英雄(職員)

小池 公善(職員)

志藤征多郎(職員)

渡邊 大也(職員)

吉田 香織(職員)

古山 広美(職員)

令和5年度 体育文化後援会 決算書

収入の部

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

項 目	予算額	決算額	増 減	備 考
一般会費	10,336,000	9,839,600	△ 496,400	年額17,000円(保護者)当初予算人数608名
特別会費	400,000	400,000	0	教職員：8,000円×50名
賛助会費	1,000,000	1,020,000	20,000	賛助会員
繰越金	2,470,661	2,470,661	0	令和4年度会計より
雑収入	0	0	0	
合 計	14,206,661	13,730,261	△ 476,400	

支出の部

項 目	予算額	決算額	増 減	備 考	
事業費	上級大会派遣費	4,800,000	4,771,662	28,338	県大会以上・コンクール
	参加料	750,000	730,200	19,800	県大会以上参加料
	強化費	2,200,000	941,430	1,258,570	遠征・合宿補助
	強化指導費	2,300,000	1,311,558	988,442	生徒引率旅費
	施設整備費	1,700,000	1,486,108	213,892	備品費・修繕費 他
	奨励費	200,000	522,512	△ 322,512	懸垂幕・台布 他
	応援活動費	500,000	540,000	△ 40,000	応援補助
	小 計	12,450,000	10,303,470	2,146,530	
運営費	会議費	10,000	3,133	6,867	会議経費
	事務費	70,000	51,487	18,513	事務用品・郵送料・振替手数料 他
	印刷費	300,000	264,000	36,000	会報印刷代
	渉外費	60,000	43,020	16,980	役員旅費・参加料
	人件費	1,042,000	1,030,065	11,935	団体職員人件費
	使用料	80,000	79,200	800	セコムAEDレンタル料
小 計	1,562,000	1,470,905	91,095		
予備費	194,661	73,030	121,631	部活動外部指導者スポーツ保険料・顧問登録料 他	
合 計	14,206,661	11,847,405	2,359,256		

令和6年度 体育文化後援会 予算

収入の部

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

項 目	本年度予算額	前年度当初予算額	増減	備 考
一般会費	8,865,000	10,336,000	△ 1,471,000	1、2、3年生15,000円×591名(保護者)
特別会費	350,000	400,000	△ 50,000	教職員：7,000円×50名
賛助会費	1,000,000	1,000,000	0	賛助会員
繰越金	1,882,856	2,470,661	△ 587,805	令和5年度会計より
雑収入	0	0	0	
合 計	12,097,856	14,206,661	△ 2,108,805	

支出の部

項 目	本年度予算額	前年度当初予算額	増減	備 考	
事業費	上級大会派遣費	2,920,000	4,800,000	△ 1,880,000	県以上大会・コンクール
	参加料	770,000	750,000	20,000	県以上大会・コンクール等参加料
	強化費	1,050,000	2,200,000	△ 1,150,000	遠征・合宿補助
	強化指導費	1,500,000	2,300,000	△ 800,000	生徒引率旅費 コーチ謝礼
	施設整備費	1,500,000	1,700,000	△ 200,000	備品費・修繕費他
	奨励費	400,000	200,000	200,000	懸垂幕・生徒表彰他
	激励費	1,700,000	0	1,700,000	全国、東北大会補助
	応援活動費	500,000	500,000	0	応援補助
小 計	10,340,000	12,450,000	△ 2,110,000		
運営費	会議費	10,000	10,000	0	各会議経費
	事務費	70,000	70,000	0	事務用品・郵送料・振替手数料
	印刷費	300,000	300,000	0	会報印刷代
	渉外費	60,000	60,000	0	会長等役員(旅費・参加費)
	人件費	1,106,000	1,042,000	64,000	団体職員人件費
	使用料	80,000	80,000	0	セコムAEDレンタル代 1ヶ月使用料¥6,600×12ヶ月分他
小 計	1,626,000	1,562,000	64,000		
予備費	131,856	194,661	△ 62,805	顧問登録料等	
合 計	12,097,856	14,206,661	△ 2,108,805		

決 算 額

収入額 13,730,261 - 支出額 11,847,405 = 残額 1,882,856 (次年度へ繰越)

米沢興讓館高等学校体育文化後援会規約

(名称・事務局)

第一条 本会は、米沢興讓館高等学校体育文化後援会(以下「本会」といふ)と称する。

二、本会の事務局を米沢興讓館高等学校(以下「本校」といふ)内に置く。

(目的)

第二条 本会は、本校における部活動をはじめとする、体育文化活動の振興及び発展を図ることを目的とする。

(事業)

第三条 本会は、第二条の目的を達成するために、次の事業を行う。

(一)本校の体育文化活動の振興及び発展のために必要と認める事業。

(二)その他本会の目的達成のために必要な事業。

(組織)

第四条 本会は、保護者(一般会員)及び、教職員(特別会員)、OB・OG等本会の目的に賛同する者(賛助会員)を以て組織する。

(役員)

第五条 本会に会長(一名)、副会長(三名)、理事(六名)、幹事(七名)、監事(二名)の役員を置く。

二、役員任期は一年とする。但し再任を妨げない。

(役員選出)

第六条 役員は下記により選出し、

総会の承認を得ることとする。

(一)会長は、理事会で選出する。

(二)副会長は、校長、教育振興会会長及び部OB・OGのなかから選出された一名がこれにあたる。

(三)理事は、教育振興会副会長三名(一・三学年の部会長、教頭)及び部OB・OGのなかから選出された三名がこれにあたる。

(四)幹事は、教頭、事務部長、生徒課長、総務課長、保護者一名(二学年)及び部OB・OGのなかから選出された二名がこれにあたる。

(五)監事は、保護者二名(一・三学年各一名)がこれにあたる。

(役員任務)

第七条 役員任務は次の通りとする。

(一)会長は会務を統括し、本会を代表する。

(二)副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時は、その職務を代行する。

(三)理事は本会の運営について審議する。

(四)幹事は会務の企画、立案、執行にあたる。

(五)監事は本会の事業並びに会計を監査する。

(顧問)

第八条 本会に顧問を置くことができる。

二、顧問は理事会の推薦により会長が委嘱する。

(事務局)

第九条 事務局は、会長委嘱による事務局員で構成し、日常業務を処理する。

(会議)

第十条 本会の会議は総会、理事会、幹事会とする。

(一)総会は会長が年一回招集し、役員承認、予算・決算承認、規約の改正、その他必要事項を議決する。また、必要あるときは臨時総会を招集することができる。

(二)理事会、幹事会は必要に応じて随時会長が招集し、総会に提出する議案に関する事、本会の運営に関する事、その他必要事項を審議する。

(三)理事会は会長、副会長、理事で構成する。

(四)総会及び理事会の議長は会長が務める。幹事会の議長は教頭が務める。

(経費)

第十一条 本会の経費は、一般会員会費、特別会員会費、賛助会員会費、その他の収入を以てこれにあてる。

(一)各会員の会費は次の通りとする。

一般会員(保護者) 一五、〇〇〇円
特別会員(教職員) 七、〇〇〇円
賛助会員 一〇、〇〇〇円以上

(二)一般会員が「山形県立高等学校の授業料等徴収条例」第八条の授業料の減免に該当したときは会費を減免できるものとする。ただし、納付済みのものについてはこれを行わない。

(会計年度)

第十二条 本会の会計年度は毎年四月一日から翌三月三十一日までとする。

(付則)

本会の規約は、次のとおり制定・改正する。

昭和三十二年九月十九日制定
昭和四十年六月一日改正
昭和四十五年十二月五日改正
昭和四十九年五月十五日改正
昭和五十一年三月二十四日改正
平成三年三月一日改正
平成四年五月二十二日改正
平成十五年四月二十六日改正
平成二十年四月二十八日改正
平成二十四年四月二十六日改正
平成三十二年四月二十五日改正
令和五年四月二十七日改正
令和六年四月二十六日改正

賛助会員名簿

(敬称略順不同・令和7年2月17日現在)

むぎしの国分寺クリニック名誉院長 大沼一 東京都国分寺
 尻高 邦夫 米沢市
 柿崎 悦子 米沢市
 遠藤 岩根 米沢市
 東北警備保障代表取締役 武田誠一郎 米沢市
 佐藤 吉憲 大阪府箕部
 佐藤 和栄 大阪府箕部
 石川 正弘 大阪府枚方市
 中條医院 中條明夫 米沢市
 (株)レイ 代表取締役 佐藤豊美 東京都千代田
 (株)エーピーエム 代表取締役社長 赤間俊明 米沢市
 山水 克美 南陽市
 山口 晃(S49年卒) 新潟県新潟
 鈴木歯科医院 米沢市
 山交観光(株)米沢案内所 米沢市
 三條 貞夫 米沢市
 (株)後藤組 代表取締役 後藤茂之 米沢市
 粹の宿 招湯苑 米沢市
 小野 隆夫 米沢市
 (医)田中クリニク 田中雄二 米沢市
 (株)西方商店 代表取締役 西方一正 米沢市
 (株)ヤリミズ自動車 米沢市

(株)振興電気 代表取締役 鈴木雄一 米沢市
 宗川巧業(株) 米沢市
 (株)本多建設 代表取締役 本多作之助 米沢市
 中條 良文 米沢市
 情野冷熱機工(株) 米沢市
 内藤 文徳 米沢市
 猪口 春生 米沢市
 (株)殖産工務所 代表取締役 伊藤一壽 川西町
 (株)紫雲堂 米沢市
 (特非)赤とんぼ 理事長 山口征一 米沢市
 (医)積仁会 松下クリニック 理事長 松下靖 長井市
 林歯科医院 林隆一 米沢市
 (医)さの医院 米沢市
 (株)小嶋総本店 米沢市
 我妻建設工業(株) 代表取締役 我妻弘一 米沢市
 駅前最上接骨院 浦山州弘 米沢市
 (一財)三友堂病院 理事長 仁科盛之 米沢市
 佐藤歯科医院 佐藤充弘 白鷹町
 太田建設(株) 米沢市
 (株)米沢自動車学校 米沢市
 税理士法人豊 米沢市
 マツキドライビングスクール米沢松岬校 米沢市

(株)一文字屋 米沢市
 かねしめ水産(株) 米沢市
 (株)遠藤書店 米沢市
 県南自動車学校 高島町
 米沢信用金庫 理事長 加藤秀明 米沢市
 あさひ歯科医院 鈴木基 米沢市
 (有)昆龍レンタカー 米沢市
 米沢ファミリー歯科・矯正歯科 大峯潤 米沢市
 日本防災工業(株) 米沢市
 (有)ハヤシ薬局 林宜明 米沢市
 セブニーイレブン米沢杉の目町店 米沢市
 (株)植杉造園 代表取締役 吉田耕一 米沢市
 千代田電工(株) 代表取締役 高野信道 米沢市
 (株)フリーデー 米沢市
 (有)キョウドウ印刷 代表取締役 石川陽右 米沢市
 (株)川島印刷 米沢市
 (株)吾妻スポーツ 米沢市
 黄木脳神経クリニック 黄木正登 米沢市
 (株)米沢牛 黄木 代表取締役 黄木修太郎 米沢市
 高橋歯科医院 高橋誠 米沢市
 中山 裕一 米沢市
 (医)大道寺医院 理事長 大道寺浩一 米沢市
 金子建設工業(株) 米沢市
 (株)小島洋酒店 代表取締役 小島長五郎 米沢市
 島貫 洋人 米沢市
 相馬写真館 米沢市

(株)平山孫兵衛商店 米沢市
 (株)データシステム米沢 米沢市
 (株)上杉コーポレーション 米沢市
 (株)ナウエル 米沢市
 ホテルモンテビュー米沢 米沢市
 (有)肉のさかの 米沢市
 (医)くまの医院 理事長 熊野仁昌 米沢市
 鈴木 文雄(日元年卒) 米沢市
 教育振興会 会長 宍戸俊文 米沢市
 南原地区社会福祉協議会 米沢市
 (有)三愛サービス 米沢市
 興譲館柔道部OB・OG会 米沢市
 サッカー部OB会 米沢市
 米興羽会(バドミントンOB会) 米沢市
 興庭会(ソフトテニスOB会) 米沢市
 興譲館バレー部OB会 米沢市
 米沢興譲館高校 吹奏楽研究クラブOB会 米沢市
 米沢興譲館高等学校野球部OB会 米沢市
 バスケットボール部OB・OG会 米沢市

あたたかいご支援・
 ご協力ありがとうございました。